

小学生・中高生の生活実態に関する
アンケート調査報告書

令和5年3月
宮城県

目次

1. アンケート調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査期間	1
(5) 回収状況	2
2. アンケート調査の結果	3
(1) 基本情報	3
(2) ふだんの生活について	7
(3) 家庭や家族のことについて	16
(4) ヤングケアラーについて	31
3. アンケート調査結果の詳細分析	35
(1) 家族の世話の有無による学校生活等の状況	35
(2) 性別による世話の状況の違い	40
(3) 家族構成による世話の状況の違い	46
(4) 平日1日あたりの世話に費やす時間による生活状況等	52
(5) 世話を必要としている家族と世話の状況等	57
(6) 世話をすることに感じている大変さによる世話の状況の違い	61
(7) ヤングケアラーの自己認識による生活状況、世話の状況の違い	65
4. アンケート調査 自由意見	73
(1) 小学生の自由意見	73
(2) 中学生の自由意見	73
(3) 高校生の自由意見	74
5. 調査結果のまとめと考察	75
(1) 調査結果のまとめ	75
① 家族の世話をしている児童生徒	75
② 世話を必要としている家族と世話の状況	75
③ 家族構成ごとの状況	75
④ 家族の世話をしていることでの影響	76
⑤ 世話に費やす時間の長さが及ぼす影響	76
⑥ 家族の世話の有無とヤングケアラーとしての自己認識	76
(2) 考察	77
6. 資料編	78
(1) 「小学生の生活実態に関するアンケート」調査票	78
(2) 「中高生の生活実態に関するアンケート」調査票	88

1. アンケート調査の概要

(1) 調査目的

県内におけるヤングケアラーの可能性のある児童生徒の存在と、その傾向を把握するとともに、ケアの状況や困りごと、支援ニーズ等を把握することを目的に実施した。

(2) 調査対象

仙台市立を除く宮城県内の国公立小中学校、高等学校及び特別支援学校に通う、小学5年生（義務教育学校5年生、特別支援学校小学部5年生を含む）、中学2年生（義務教育学校8年生、特別支援学校中学部2年生を含む）、高校2年生（特別支援学校高等部2年生を含む）の児童生徒39,172人。

(3) 調査方法

- 小学校、特別支援学校
 - ・各学校を通じて児童生徒に調査票を配布
 - ・回答方法は同封した返信用封筒による郵送か、自宅のPCやスマートフォンから回答できるWeb環境（調査票の二次元コードから案内）からの回答のいずれかを児童生徒が選択

- 中学校、高等学校
 - ・各学校を通じて生徒に調査用紙を配布
 - ・回答方法は自宅のPCやスマートフォンから回答できるWeb環境（調査票の二次元コードから案内）にて回答
 - ・一部、Web環境が使用できない生徒のため、返信用封筒による郵送でも可とした。

(4) 調査期間

令和4年11月28日 から 令和4年12月16日 まで

(5) 回収状況

以下、「2. アンケート調査の結果」については、以下の区分を基本とする。

集計区分	内訳	調査対象者数	有効回答数	回収率
小学5年生	小学5年生 義務教育学校5年生 特別支援学校小学部5年生	10,317	3,897	37.8%
中学2年生	中学2年生 義務教育学校8年生 特別支援学校中学部2年生	11,182	4,814	43.1%
高校2年生	高校2年生（全日制） 高校2年生（定時制） 高校2年生（通信制） 特別支援学校高等部2年生	17,673	5,185	29.3%
計		39,172	13,896	35.5%

※調査対象者数は令和4年5月1日時点の児童生徒数による。

2. アンケート調査の結果

(1) 基本情報

① 性別

図表-2.1.1 性別

(%)

	調査数 (人)	男性	女性	その他	回答不備 無回答
小学5年生	3,897	46.1	51.7	0.4	1.8
中学2年生	4,814	47.9	50.6	1.2	0.3
高校2年生	5,185	50.9	47.6	1.4	0.1

② 同居家族

「母親」、「父親」、「兄・姉」・「弟・妹」による二世代世帯が多い。

「祖母」、「祖父」、「兄・姉」については学年が上がるごとに割合が減っている。

「その他」について、主に「親せき（おじ・おば等）」、「曾祖父母」の記載が多かったが、高校生においては、「寮」、「一人暮らし」という回答もあった。

図表－2.1.2 同居家族（複数回答） (％)

	調査数 (人)	母親	父親	祖母	祖父	兄・ 姉	弟・ 妹	その他	答えられない	無回答・ 回答不備
小学5年生	3,897	96.8	87.1	31.2	24.1	51.7	46.4	6.3	0.3	1.0
中学2年生	4,814	96.4	84.7	29.3	21.9	47.3	48.9	4.8	0.7	0.3
高校2年生	5,185	92.2	77.1	25.3	17.5	36.7	47.4	5.9	1.5	0.3

③ 家族構成

図表－2.1.3 家族構成 (％)

	調査数 (人)	二世代世帯	三世代世帯	ひとり親等世帯	一人暮らし	その他	無回答・ 回答不備
小学5年生	3,897	56.6	28.9	6.6	0.0	7.0	0.9
中学2年生	4,814	55.8	29.0	8.9	0.0	5.9	0.4
高校2年生	5,185	52.6	25.2	13.8	0.2	7.9	0.3

※「一人暮らし」については、「その他」の記述より判断ができた児童生徒のみを集計

「その他」の例としては、寮生活、祖母祖父と当人のみ等と回答した児童生徒を集計

「ひとり親等世帯」については、同居家族を父親か母親の一方のみとして児童生徒を集計

④ 健康状態

全ての学年で「よい」の割合が高くなっている。

「あまりよくない」、「よくない」の割合が小学生より中高生の方が高い。

図表－2.1.4 健康状態

(%)

	調査数 (人)	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	答えられない	回答不備・ 無回答
小学5年生	3,897	64.3	16.7	14.9	2.1	0.3	0.5	1.2
中学2年生	4,814	48.3	21.6	23.6	5.0	0.6	0.6	0.3
高校2年生	5,185	49.4	21.0	23.1	4.7	0.8	0.7	0.3

⑤ 食事の状況

全ての学年で3食「毎日食べる」割合が最も高く、次いで「週5～6日」が高いが、朝食については高校生の「週1～2日、ほとんど食べない」の割合も高い。

昼食・夕食で「週3～4日」以下と回答した割合は、高校生が小中学生に比べて高い傾向にある。

図表－2.1.5 3食（朝・昼・晩）の摂取状況

【朝食】

(%)

	調査数 (人)	毎日 食べる	週 5 ～ 6 日	週 3 ～ 4 日	ほと んど 食 べ な い 週 1 ～ 2 日	答 え ら れ な い	無 回 答 ・ 回 答 不 備
小学5年生	3,897	90.3	4.8	1.7	2.2	0.2	0.8
中学2年生	4,814	79.7	11.8	3.7	4.3	0.4	0.1
高校2年生	5,185	71.9	12.6	4.9	9.8	0.7	0.1

【昼食】

(%)

	調査数 (人)	毎日 食べる	週 5 ～ 6 日	週 3 ～ 4 日	ほと んど 食 べ な い 週 1 ～ 2 日	答 え ら れ な い	無 回 答 ・ 回 答 不 備
小学5年生	3,897	92.0	3.1	0.4	0.2	0.1	4.2
中学2年生	4,814	89.7	8.7	0.7	0.4	0.2	0.3
高校2年生	5,185	87.8	8.6	1.7	1.3	0.5	0.1

【夕食】

(%)

	調査数 (人)	毎日 食べる	週 5 ～ 6 日	週 3 ～ 4 日	ほと んど 食 べ な い 週 1 ～ 2 日	答 え ら れ な い	無 回 答 ・ 回 答 不 備
小学5年生	3,897	94.0	1.4	0.1	0.2	0.2	4.1
中学2年生	4,814	94.1	4.6	0.6	0.2	0.2	0.3
高校2年生	5,185	91.9	5.5	1.4	0.5	0.5	0.2

(2) ふだんの生活について

① 学校への通学状況：出席状況

全ての学年で「ほとんど欠席しない」の割合が一番高い。

「よく欠席する」と回答した割合は、小学生で3.2%、中学生で4.8%、高校生で6.1%である。

図表－2.2.1 出席状況 (％)

	調査数 (人)	ほとんど欠席しない (年に0～3日くらい)	たまに欠席する (月に1日くらい)	よく欠席する (週に1日くらい)	答えられない	無回答・回答不備
小学5年生	3,897	81.4	13.5	3.2	0.6	1.3
中学2年生	4,814	75.3	18.3	4.8	1.1	0.5
高校2年生	5,185	73.2	19.4	6.1	1.0	0.3

② 学校への通学状況：遅刻や早退の状況

全ての学年で「ほとんどしない」の割合が一番高い。

「よくする」の割合は小学生より中高生が高くなっている。

図表－2.2.2 遅刻や早退 (％)

	調査数 (人)	ほとんどしない (年に0～3日くらい)	たまにする (月に1日くらい)	よくする (週に1日くらい)	答えられない	無回答・回答不備
小学5年生	3,897	81.0	8.4	2.7	0.7	7.2
中学2年生	4,814	79.2	5.0	14.4	0.8	0.6
高校2年生	5,185	79.1	4.1	15.3	1.0	0.5

③ 部活動・課外活動への参加状況

全ての学年で「参加している」の割合が高く、中学生の「参加している」割合が一番高い。

図表-2.2.3.1 部活動・課外活動への参加状況 (％)

	調査数 (人)	参加している	参加していない	答えられない	無回答・回答不備
小学5年生	3,897	69.2	29.0	0.4	1.4
中学2年生	4,814	93.2	5.3	1.2	0.3
高校2年生	5,185	80.2	17.0	2.7	0.1

③-2 不参加理由

小学生と高校生では「入りたいクラブがないから」、中学生では「その他」の割合が一番高かった。「家の事情があるから」の割合はどの学年も、10%前後。

「その他」については「新型コロナウイルスの関係」、「バイトがあるから」、「受験勉強」等の回答があった。

図表-2.2.3.2 部活動・課外活動への不参加理由 (％)

	調査数 (人)	入りたいクラブがないから	費用が掛かるから	家の事情(家族の世話、家事など)があるから	一緒にいる友達がいないから	その他	無回答・回答不備
小学5年生	1,130	53.4	8.9	9.3	3.2	22.2	3.0
中学2年生	256	34.4	1.2	9.8	6.3	37.1	11.2
高校2年生	882	44.7	4.3	10.1	4.5	31.5	4.9

④ 普段の学校生活等であてはまること

小学生では「あてはまるものはない」の割合が最も高く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」の割合が高い。

中学生でも「あてはまるものはない」と回答した生徒が最も多いが、次いで「提出しなければならない書類などの提出が遅くなることが多い」、「宿題や課題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」と回答した生徒が多い。

高校生では「授業中に居眠りすることが多い」が最も高い。

図表－2.2.4 普段の学校生活等であてはまること（複数回答） (％)

	調査数（人）	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	提出しなければならない書類などの提出が遅くなることが多い	修学旅行などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	あてはまるものはない	答えられない	無回答・回答不備
小学5年生	3,897	3.4	9.0	21.0	1.4	11.8	0.5	1.1	4.0	4.3	64.0	1.1	2.6
中学2年生	4,814	19.8	22.9	22.8	7.6	25.0	0.3	1.4	5.8	5.3	45.2	1.5	3.3
高校2年生	5,185	42.0	17.1	14.6	7.3	16.6	1.5	1.2	8.3	7.0	36.9	2.0	2.9

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「宿題や課題ができていないことが多い」→「宿題ができていないことが多い」
- ・「持ち物の忘れ物が多い」→「わすれ物が多い」
- ・「部活動や習い事を休むことが多い」→「課外活動、じゅく・習い事を休むことが多い」
- ・「提出しなければならない書類などの提出が遅れることが多い」→「先生に出す提出物が遅くなるが多い」
- ・「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」→「野外活動などの宿泊行事を欠席する」

⑤ 悩みや困りごと

小学生では「特にない」割合が最も高く、次いで「勉強や成績のこと」、「友達との関係のこと」の割合が高い。中学生でも「特にない」と回答した生徒が最も多いが、次いで「進路のこと」、「学業成績のこと」と回答した生徒が多い。高校生では「進路のこと」の割合が最も高い。

「その他」については、全学年ともに「担任の先生とのこと」、「自分の性格」などの回答があった。

図表-2.2.5 悩みや困りごと（複数回答）

(%)

	調査数（人）	友達との関係のこと	勉強や成績のこと	将来のこと	お金のこと	課外活動、じゅく・習い事を休むことが多い	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと（両親の仲がよくないなど）	病気やしょうがいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	特にない	その他	答えられない	無回答・回答不備
小学 5年生	3,897	13.5	14.7	9.5	4.7	1.3	3.1	2.2	1.3	2.0	68.1	1.7	1.6	1.7

(%)

	調査数（人）	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費（教材費、部費）など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信講座含む）や習い事ができないこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと（両親の仲がよくないなど）	病気や障害のある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	特にない	その他	答えられない	無回答・回答不備
中学 2年生	4,814	16.3	34.8	38.7	16.8	3.2	1.7	3.9	5.3	4.5	1.5	4.4	42.0	1.3	1.5	1.1
高校 2年生	5,185	12.7	32.2	47.7	12.3	6.1	1.5	6.4	4.1	3.8	3.1	5.7	34.5	1.2	2.3	1.1

⑥ 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

全ての学年で「相談にのってくれる人や、話を聞いてくれる人がいる」の割合が半数を超えている。「相談や話はしたくない」の割合は、中学生では小学生や高校生に比べて高くなっている。

図表-2.2.6.1 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無 (％)

	調査数 (人)	相談にのってくれる人や、 話を聞いてくれる人がいる	相談にのってくれる人や、 話を聞いてくれる人がいない	相談や話はしたくない	答えられない	無回答・回答不備
小学5年生	1,213	57.0	3.6	14.8	4.0	20.6
中学2年生	2,804	65.7	3.6	17.7	2.7	10.3
高校2年生	3,339	65.1	3.6	13.6	4.0	13.7

※調査数は「⑤悩みや困りごと」の設問で「特にない」のみと回答した児童生徒と、「無回答・回答不備」だった児童生徒は除いた値で集計

⑥-2 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人

全ての学年で「親」の割合が一番高く、次いで「学校の友達」、「学校の先生」と続く。

「その他」について、小学生は「いとこ」、「おば」等の親族が多いが、中学生から高校生にかけて「先輩」や「他校の友達」など家族以外の回答が多くなった。

図表-2.2.6.2 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人（複数回答）（%）

	調査数（人）	親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	学校の友達	学校外の友達	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人（じゆく・習い事の先生、地域の人など）	ネットで知り合った人	その他	答えられない	無回答・回答不備
小学5年生	691	83.2	21.6	18.1	33.9	58.6	10.0	6.8	6.2	2.9	1.3	0.3	0.1
中学2年生	1,843	73.1	24.4	11.7	35.8	72.8	16.8	4.7	7.9	6.3	0.6	0.2	0.3
高校2年生	2,203	72.9	21.5	7.1	32.6	66.2	31.9	5.4	6.7	6.8	0.8	0.8	0.3

※調査数は「⑥悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無」の設問で「相談にのってくれる人や、話を聞いてくれる人がいる」と回答した児童生徒のみ集計

⑦ 施設の利用状況

■児童クラブや児童館など：（自分や友人の家以外で）平日の夜や休日を過ごすことができる場所

小学生では「利用したことがある」の割合が最も高い。

中高生では「知っているが利用したことはない」のうち「今後利用したいとは思わない」の割合が最も高かった。

図表－2.2.7.1.1 施設の利用状況（児童クラブや児童館など）（％）

	調査数（人）	利用したことがある	知っているが利用したことはない			そのような場所があることを知らない	無回答・回答不備
			あれば利用したいと思う	今後利用したいとは思わない	利用したいかどうかわからない		
小学5年生	3,897	32.7	4.9	30.1	10.6	17.6	4.1
中学2年生	4,814	25.5	5.0	28.7	13.9	25.6	1.3
高校2年生	5,185	23.2	5.5	28.5	15.3	25.8	1.7

■子ども食堂など：（自分や友人の家以外で）夕ご飯を無料か安く食べることができる場所

全ての学年で「そのような場所があることを知らない」が最も高く、利用したことがある」の割合は5%未満であった。

図表－2.2.7.1.2 施設の利用状況（子ども食堂など）（％）

	調査数（人）	利用したことがある	知っているが利用したことはない			そのような場所があることを知らない	無回答・回答不備
			あれば利用したいと思う	今後利用したいとは思わない	利用したいかどうかわからない		
小学5年生	3,897	4.4	9.6	20.5	10.2	51.1	4.2
中学2年生	4,814	4.9	7.3	23.6	15.2	47.8	1.2
高校2年生	5,185	4.5	7.5	27.3	16.4	42.8	1.5

■勉強を無料でみてる場所

全ての学年で「そのような場所があることを知らない」が半数を超え、最も高い。
 中高生に比べ、小学生では「あれば利用したいと思う」の割合が高い。

図表-2.2.7.1.3 施設の利用状況（勉強を無料でみてる場所） (％)

	調査数 (人)	利用 した こと が あ る	知っているが利用したことはない			あ る こ と を 知 ら な い そ の よ う な 場 所 が	無 回 答 ・ 回 答 不 備
			あ れ ば 利 用 し た い と 思 う	思 わ な い 今 後 利 用 し た い と は	わ か ら な い 利 用 し た い か ど う か		
小学5年生	3,897	4.7	13.7	16.7	8.3	52.6	4.0
中学2年生	4,814	5.4	9.8	14.2	9.8	59.4	1.4
高校2年生	5,185	5.4	7.5	17.5	10.7	57.5	1.4

■（家や学校以外で）なんでも相談できる場所（電話やネットの相談を含む）

全ての学年で「利用したことがある」割合は最も低い。

「知っているが利用したことはない」のうち「今後利用したいとは思わない」、「利用したいかわからない」の割合が高い。

図表-2.2.7.1.4 施設の利用状況（相談できる場所） (％)

	調査数 (人)	利用 した こと が あ る	知っているが利用したことはない			あ る こ と を 知 ら な い そ の よ う な 場 所 が	無 回 答 ・ 回 答 不 備
			あ れ ば 利 用 し た い と 思 う	思 わ な い 今 後 利 用 し た い と は	わ か ら な い 利 用 し た い か ど う か		
小学5年生	3,897	2.1	8.8	35.3	20.6	28.9	4.3
中学2年生	4,814	3.4	6.9	36.3	24.0	28.0	1.4
高校2年生	5,185	4.1	7.4	35.8	24.3	26.9	1.5

⑦-2 施設を利用して感じたこと

全ての学年で「友達が増えた」、「特に変化はない」の割合が高く、次いで小学生と高校生では「気軽に話せる大人が増えた」、中学生では「生活の中で楽しみが増えた」の割合が高い。

「その他」では、全学年共に「楽しかった」、「安心した」という回答や「合わなかった」などの回答があった。

図表-2.2.7.2 公共施設を利用して感じたこと（複数回答） (％)

	調査数（人）	友達が増えた	気軽に話せる大人が増えた	生活の中で楽しみが増えた	ほっとできる時間が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強がわかるようになった	勉強する時間が増えた	その他	特に変化はない	無回答・回答不備
小学5年生	1,419	40.0	21.0	20.5	13.2	2.5	8.7	12.8	2.2	28.6	14.7
中学2年生	1,506	31.6	14.6	15.0	12.7	2.3	8.5	12.2	1.3	35.0	16.5
高校2年生	1,464	24.5	12.8	9.6	9.6	1.5	5.5	8.4	1.4	36.0	21.5

※調査数は「⑦施設の利用状況」の設問で1か所でも「利用したことがある」と回答した児童生徒のみ集計

(3) 家庭や家族のことについて

① 世話をしている家族の有無

「いる」と回答した割合は、小学生で7.9%、中学生で7.3%、高校生で5.8%であった。

図表-2.3.1 世話をしている家族の有無 (％)

	調査数 (人)	いる	いない	答えられない	無回答・ 回答不備
小学5年生	3,897	7.9	88.1	0.7	3.3
中学2年生	4,814	7.3	90.4	1.1	1.2
高校2年生	5,185	5.8	91.0	1.8	1.4

② 世話をしている家族

(イ) 誰の世話をしているか

全ての学年で「きょうだい」の割合が一番高い。

高校生では「母親」の世話をしている生徒の割合が、小中学生より高くなっている。

図表-2.3.2.イ 世話をしている家族（複数回答） (％)

	調査数 (人)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	その他	無回答・ 回答不備
小学5年生	306	10.1	2.6	8.5	5.6	73.5	9.2	4.2
中学2年生	353	7.1	2.3	9.9	5.7	76.2	7.9	1.1
高校2年生	303	15.2	7.9	14.5	8.9	59.7	7.6	3.0

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

(ロ) 世話の内容

【父母の状況と世話の内容】

小学生では「その他」に次いで「病気」の割合が高く、中学生では「その他」、「答えられない」、「高齢」の割合が高い。高校生では「高齢」、「答えられない」、「身体障害」などの割合が高くなっている。

世話の内容としては、全ての学年で「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が高い。

図表-2.3.2.ロ.1 父母の状況（複数回答）

(%)

	調査数 (人)	お年寄り (65歳以上)	介護が必要	身体に ししょうがいがある	病気	その他	無回答・ 回答不備
小学5年生	39	2.6	2.6	2.6	10.3	25.6	59.0

(%)

	調査数 (人)	高齢 (65歳以上)	要介護 (介護が必要な状態)	認知症	身体障害	知的障害	精神疾患 (疑い含む)	依存症 (アルコール、ギャンブルなど 疑い含む)	精神疾患、 依存症以外の病気	その他	答えられない	無回答・ 回答不備
中学 2年生	33	15.2	3.0	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0	3.0	48.5	27.3	27.3
高校 2年生	70	25.7	8.6	1.4	20.0	2.9	4.3	4.3	5.7	7.1	22.9	11.4

※調査数は「(イ) 誰の世話をしているか」の設問にて「母親」、「父親」と回答した児童生徒のみ集計

※小学生と中高生の選択項目が異なるため別々の表とした。

図表-2.3.2.ロ.2 父母の世話の内容（複数回答）

(%)

	調査数（人）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他	無回答・回答不備
小学 5年生	39	33.3	7.7	23.1	10.3	15.4	20.5	0.0	7.7	10.3	10.3	35.9
中学 2年生	33	51.5	6.1	18.2	9.1	12.1	12.1	0.0	0.0	0.0	6.1	39.4
高校 2年生	70	50.0	5.7	22.9	11.4	15.7	20.0	5.7	10.0	2.9	2.9	15.7

※調査数は「(イ)誰の世話をしているか」の設問にて「母親」、「父親」と回答した児童生徒のみ集計

【祖父母の状況と世話の内容】

全ての学年で「お年寄り」又は「高齢」の割合が最も高く、次いで中高生では、「認知症」の割合が高くなっている。

世話の内容として「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「見守り」の割合が高い。

また、高校生は上記に加えて「感情面のサポート（話し相手になるなど）」の割合が小中学生に比べて高い。

図表－2.3.2. 口.3 祖父母の状況（複数回答）

(%)

	調査数（人）	お年寄り（65歳以上）	介護が必要	身体にしょうがいがある	病気	その他	無回答・回答不備
小学 5年生	43	79.1	11.6	7.0	11.6	0.0	18.6

(%)

	調査数（人）	高齢（65歳以上）	要介護（介護が必要な状態）	認知症	身体障害	知的障害	精神疾患（疑い含む）	依存症（アルコール、ギャンブルなど 疑い含む）	精神疾患、依存症以外の病気	その他	答えられない	無回答・回答不備
中学 2年生	55	83.6	12.7	25.5	9.1	1.8	0.0	1.8	1.8	0.0	3.6	0.0
高校 2年生	71	63.4	22.5	26.8	21.1	2.8	2.8	2.8	4.2	1.4	9.9	0.0

※調査数は「(イ)誰の世話をしているか」の設問にて「祖母」、「祖父」と回答した児童生徒のみ集計

※小学生と中高生の選択項目が異なるため別々の表とした。

図表-2.3.2.ロ.4 祖父母の世話の内容（複数回答）

(%)

	調査数（人）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他	無回答・回答不備
小学 5年生	43	41.9	7.0	14.0	7.0	23.3	27.9	0.0	2.3	7.0	4.7	20.9
中学 2年生	55	36.4	12.7	16.4	9.1	23.6	50.9	1.8	0.0	7.3	1.8	3.6
高校 2年生	71	35.2	19.7	18.3	7.0	36.6	49.3	2.8	1.4	5.6	7.0	5.6

※調査数は「(イ)誰の世話をしているか」の設問にて「祖母」、「祖父」と回答した児童生徒のみ集計

【きょうだいの状況と世話の内容】

全ての学年で「自分より小さい子ども」又は「幼い」と回答した割合が高い。

世話の内容としては、全ての学年で「見守り」が多くなっている。

小学生については、「身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）」の割合が中高生に比べて高く、中高生については、「きょうだいの世話や保育所などへの送迎など」の割合が高い。

図表-2.3.2.ロ.5 きょうだいの状況（複数回答） (％)

	調査数（人）	自分より 小さい子ども	介護が必要	身体にしょうがいがある	病気	その他	無回答・回答不備
小学 5年生	225	88.9	0.9	2.7	1.3	2.2	8.0

(％)

	調査数（人）	幼い	要介護（介護が必要な状態）	認知症	身体障害	知的障害	精神疾患（疑い含む）	依存症（アルコール、ギャンブルなど 疑い含む）	精神疾患、依存症以外の病気	その他	答えられない	無回答・回答不備
中学 2年生	269	87.0	0.7	0.4	1.9	5.9	1.5	0.0	0.4	4.1	1.9	3.7
高校 2年生	181	79.6	1.1	2.8	1.7	4.4	2.2	0.6	0.6	3.9	8.8	4.4

※調査数は「(イ)誰の世話をしているか」の設問にて「きょうだい」と回答した児童生徒のみ集計

※小学生と中高生の選択項目が異なるため別々の表とした。

図表-2.3.2.ロ.6 きょうだいの世話の内容（複数回答）

(%)

	調査数（人）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他	無回答・回答不備
小学 5年生	225	12.0	16.0	26.7	14.2	1.8	15.1	55.1	0.4	0.4	0.0	6.7	6.7
中学 2年生	269	21.6	42.0	9.3	14.9	1.5	12.6	68.4	1.5	3.3	0.4	2.6	1.9
高校 2年生	181	35.4	48.6	5.5	18.2	1.7	9.9	55.8	1.1	5.5	1.1	3.9	2.2

※調査数は「(イ)誰の世話をしているか」の設問にて「きょうだい」と回答した児童生徒のみ集計

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」→「家事(食事の準備やそうじ、せんたく)」
- ・「きょうだいの世話や保育所等への送迎」→「きょうだいの世話や保育所などへの送りむかえ」
- ・「身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）」→「入浴やトイレのお世話など」
- ・「通院への付き添い」→「病院への付きそい」
- ・「感情面のサポート（話し相手になるなど）」→「ぐちを聞く、話し相手になるなど」
- ・「金銭管理」→「お金の管理」

(ハ)世話を一緒にしている人

「母親」、「父親」、「きょうだい」が多い。

図表-2.3.2.ハ 世話を一緒にしている人（複数回答） (％)

	調査数 (人)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚 (おじ、おばなど)	自分のみ	福祉サービス (ヘルパーなど) を利用	その他	無回答・ 回答不備
小学5年生	306	58.5	40.5	21.2	13.7	40.5	2.3	7.2	0.7	2.9	13.4
中学2年生	353	64.9	47.9	17.0	11.3	38.8	6.8	9.6	3.4	1.1	9.3
高校2年生	303	56.4	37.6	10.6	5.9	32.0	6.6	14.5	3.6	2.3	9.2

(二)世話を始めた年齢

小学生は、「小学生（低学年）」、中学生は「小学生（高学年）」、高校生は「中学生以降」の割合が一番高い。

図表-2.3.2.ニ 世話を始めた年齢 (％)

	調査数 (人)	就学前 【1～6歳】	小学生 (低学年) 【7～9歳】	小学生 (高学年) 【10～12歳】	中学生以降 【13歳～】	無回答・ 回答不備
小学5年生	306	26.1	32.7	21.6	0.0	19.6
中学2年生	353	16.4	19.0	38.2	15.3	11.1
高校2年生	303	12.9	11.2	16.8	38.0	21.1

(ホ)世話をしている頻度

全ての学年で「ほぼ毎日」が最も高く、次いで「週に3～5日」の割合が高い。

「その他」については「不定期」、「必要な時のみ」等の回答があった。

図表－2.3.2.ホ 世話をしている頻度

(%)

	調査数 (人)	ほぼ毎日	週に3 ～ 5日	週に1 ～ 2日	1 か月に 数日	その他	無回答・ 回答不備
小学5年生	306	45.8	18.0	15.7	5.9	2.6	12.0
中学2年生	353	57.2	18.4	12.7	5.4	2.0	4.3
高校2年生	303	51.2	17.5	14.2	6.9	3.6	6.6

(ヘ)平日1日あたりの世話に費やす時間

全ての学年で「3時間未満」が一番多い。小学生では約30%、中高生では約40%の割合で、平日に3時間以上の時間を世話に費やしている。

図表－2.3.2.ヘ 世話に費やす時間（平日1日あたり）

(%)

	調査数 (人)	3 時間 未満	3 ～ 7 時間 未満	7 時間 以上	無回答・ 回答不備
小学5年生	306	52.6	17.6	9.2	20.6
中学2年生	353	45.3	32.3	9.6	12.8
高校2年生	303	41.3	29.0	9.9	19.8

③ 世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

全ての学年で「特にない」の割合が一番高い。次いで「自分の時間が取れない」、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」の割合が高くなっている。

図表-2.3.3 世話をしているために、やりたいけれどできていないこと（複数回答）（%）

	調査数（人）	学校に行きたくても行けない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	特にない	その他	無回答・回答不備
小学 5年生	306	1.0	1.3	6.2	5.2	4.2	0.7		9.5	74.8	1.3	8.5
中学 2年生	353	0.8	1.4	10.5	8.5	6.2	2.3	0.8	16.1	71.1	0.3	4.8
高校 2年生	303	5.3	2.6	10.2	7.6	5.3	2.6	6.9	12.9	59.7	2.6	7.3

※小学生では「進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した」の選択項目はなし

④ 世話をすることに感じている大変さ

全ての学年で「特に大変さは感じていない」が多い。

学年が上がるにつれて、「心が疲れて大変・精神的に大変である」、「時間によゆうがなくて大変・時間的余裕がない」の割合が高くなっている。

図表－2.3.4 世話をすることに感じている大変さ（複数回答）（％）

	調査数 (人)	身体的に大変である 体が疲れて大変	精神的に大変である 心が疲れて大変	時間的余裕がない 時間によゆうがなくて大変	特に大変さは感じていない	無回答・回答不備
小学5年生	306	15.4	8.2	7.2	69.6	7.8
中学2年生	353	13.0	17.0	13.9	66.9	2.8
高校2年生	303	12.9	18.8	17.2	58.1	7.6

⑤ 世話について相談した経験

全ての学年で相談したことが「ない」と回答した児童生徒が約80%いる。

図表－2.3.5 世話について相談した経験（％）

	調査数 (人)	ある	ない	無回答・回答不備
小学5年生	306	14.4	79.4	6.2
中学2年生	353	19.5	78.5	2.0
高校2年生	303	17.2	76.2	6.6

⑥ 世話についての相談相手

全ての学年で「家族」が一番高く、中高生になると「友人」や「学校の先生」、「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー」、「保健室の先生」の割合が高くなっている。

図表-2.3.6 世話についての相談相手（複数回答） (％)

	調査数（人）	家族（母、父、祖母、祖父、きょうだい）	親戚（おじ、おばなど）	友人	学校の先生（保健室の先生以外）	保健室の先生	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー	医師や看護師、その他病院の人	ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人	役所や保健福祉センターの人	近所の人	SNS上の知り合い	その他	無回答・回答不備
小学 5年生	44	88.6	9.1	34.1	11.4	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
中学 2年生	69	66.7	7.2	44.9	20.3	5.8	7.2	0.0	2.9	1.4	1.4	11.6	0.0	1.4
高校 2年生	52	48.1	9.6	40.4	23.1	9.6	13.5	3.8	1.9	1.9	0.0	3.8	1.9	0.0

※調査数は「⑤世話について相談した経験」の設問にて「ある」と回答した児童生徒のみ集計

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「友人」 → 「友達」
- ・「医師や看護師、その他病院の人」 → 「お医者さんや看護師さん、その他病院の人」
- ・「ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人」 → 「ヘルパーさんや福祉サービスの人」

⑦ 世話について相談したことがない理由

全ての学年で「誰かに相談するほどの悩みではない」の割合が一番高く、次いで「家族以外の人に相談するほどの悩みではない」（中高生のみ）、「相談しても状況が変わると思えない」などが高くなっている。

図表-2.3.7 世話について相談したことがない理由（複数回答）（％）

	調査数（人）	誰かに相談するほどの悩みではない	家族以外の人に相談するほどの悩みではない	誰に相談するのがよいかわからない	相談できる人が身近にいない	家族のこのため話しにくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わると思えない	その他	無回答・回答不備
小学5年生	243	72.4		5.8	2.1		5.3	4.5	9.9	9.5	4.1
中学2年生	277	75.8	11.9	6.9	5.1	6.9	3.6	6.1	11.2	5.8	4.0
高校2年生	231	74.9	11.3	3.0	2.6	3.9	4.8	3.9	14.7	4.8	2.2

※調査数は「⑤世話について相談した経験」の設問にて「ない」と回答した児童生徒のみ集計

※小学5年生は「家族以外の人に相談するほどの悩みではない」と「家族のこのため話しにくい」の選択項目はなし。

⑧ 世話について話を聞いてくれる人の有無

全ての学年で「いる」が多い。

図表-2.3.8 世話について話を聞いてくれる人の有無（％）

	調査数（人）	いる	いない	無回答・回答不備
小学5年生	243	69.5	26.7	3.8
中学2年生	277	61.4	33.6	5.0
高校2年生	231	64.5	32.5	3.0

※調査数は「⑤世話について相談した経験」の設問にて「ない」と回答した児童生徒のみ集計

⑨ 学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

全ての学年で「特にない」の割合が一番高い。次いで小学生では「わからない」、「自由に使える時間が欲しい」が高く、中学生では「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」、「自由に使える時間がほしい」、高校生では「進路や就職など将来の相談にのってほしい」の割合が高くなっている。

「※自分がしているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい」の具体例について、小学生は「愚痴を聞く」「見守り」の回答があり、中高生では「料理をする」「家事をする」の回答が多かった。また、小学生の「その他」に「家族の仕事を減らす方法を知りたい」という回答があった。

図表-2.3.9 学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）（%）

	調査数（人）	自分の状況について話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	わかりやすく説明してほしい 家族の病気や障害、ケアのことなどについて	代わってくれる人やサービスがほしい	自分がしているお世話の全てを 代わってくれる人やサービスがほしい	※自分がしているお世話の一部を 代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	家庭への経済的な支援	わからない	特にない	その他	無回答・回答不備
小学 5年生	306	6.2	1.6	1.0	1.0	1.6	10.1	4.6	8.2	3.6	10.1	69.3	1.3	3.9	
中学 2年生	353	5.1	2.3	2.0	1.1	0.8	12.5	9.9	12.7	2.8	8.8	62.6	0.8	3.7	
高校 2年生	303	8.3	5.3	3.3	3.0	1.3	8.9	11.6	6.6	4.3	6.9	51.8	2.6	5.9	

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計。

※小学5年生向けには、漢字のひらがな表記への書き換えや、次の通り平易な表現への書き換えを行った。

- ・「ケアのことなどについて」→「お世話のしかたなどについて」
- ・「進路や就職など将来の相談」→「将来のことについて」
- ・「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」→「学校の勉強のサポート」
- ・「家庭への経済的な支援」→「家庭へのお金についてのサポート」

⑩ 希望する支援方法

全ての学年で「直接会って」の回答が多いが、中学生は「SNS（LINEなど）」の回答も多い。

図表－2.3.10 希望する支援方法（複数回答）

(%)

	調査数 (人)	直接会って	電話	SNS (LINEなど)	電子メール	その他	答えられない	無回答・回答不備
小学 5年生	22	36.4	31.8	18.2	9.1	4.5	18.2	9.1
中学 2年生	22	36.4	31.8	45.5	9.1	0.0	18.2	4.5
高校 2年生	38	63.2	23.7	18.4	7.9	2.6	2.6	0.0

※調査数は「⑨学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援」の設問にて、「自分の状況について話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した児童生徒のみ集計。

(4) ヤングケアラーについて

① ヤングケアラーの自覚

「あてはまる」の割合は、小学生で0.8%、中学生で1.4%、高校生で2.2%となっている。

各学年とも、世話をしている家族が「いる」場合、「いない」の場合に比べて「わからない」の割合が高くなっている。

図表-2.4.1 自分はヤングケアラーにあてはまると思うか

■全体 (%)

	調査数 (人)	あてはまる	あてはまらない	わからない	答えられない	回答不備・ 無回答
小学5年生	3,897	0.8	77.4	11.6	0.9	9.3
中学2年生	4,814	1.4	80.7	15.4	1.0	1.5
高校2年生	5,185	2.2	74.3	18.7	2.9	1.9

■小学5年生 (%)

		調査数 (人)	あてはまる	あてはまらない	わからない	答えられない	回答不備・ 無回答
小学5年生		3,897※	0.8	77.4	11.6	0.9	9.3
世話をしている 家族※	いる	306	3.6	52.3	30.4	2.6	11.1
	いない	3,432	0.6	81.7	9.8	0.6	7.3

※世話をしている家族については「無回答・回答不備」を含むため、世話をしている家族が「いる」場合と「いない」場合の調査数の合計は、全体の調査数とは一致しない場合がある。

○ヤングケアラーとは

「本来大人がすると考えられるような家事や家族の世話などを、日常的に行うことにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

■ 中学 2 年生

(%)

		調査数 (人)	あてはまる	あてはまらない	わからない	答えられない	無回答・ 回答不備
中学 2 年生		4,814※	1.4	80.7	15.4	1.0	1.5
世話を している家族	いる	353	5.9	54.7	31.7	2.5	5.2
	いない	4,354	1.0	83.9	13.9	0.5	0.7

※世話をしている家族については「無回答・回答不備」を含むため、世話をしている家族が「いる」場合と「いない」場合の調査数の合計は、全体の調査数とは一致しない場合がある。

■ 高校 2 年生

(%)

		調査数 (人)	あてはまる	あてはまらない	わからない	答えられない	無回答・ 回答不備
高校 2 年生		5,185※	2.2	74.3	18.7	2.9	1.9
世話を している家族	いる	303	12.2	39.3	35.0	7.6	5.9
	いない	4,719	1.4	78.4	17.5	1.8	0.9

※世話をしている家族については「無回答・回答不備」を含むため、世話をしている家族が「いる」場合と「いない」場合の調査数の合計は、全体の調査数とは一致しない場合がある。

② ヤングケアラーの認知度

全ての学年で「聞いたことはない」の割合が高いが、学年が上がるにつれ、「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が増加している。

図表-2.4.2.1 ヤングケアラーの認知度

(%)

	調査数(人)	聞いたことがあり、内容も知っている	聞いたことはあるがよく知らない	聞いたことはない	答えられない	無回答・回答不備
小学5年生	3,897	15.8	16.9	61.5	1.1	4.7
中学2年生	4,814	26.6	19.6	52.5	0.1	1.2
高校2年生	5,185	31.1	18.0	49.0	0.2	1.7

②-2 ヤングケアラーについて知ったきっかけ

全ての学年で「テレビや新聞、ラジオ」の割合が高い。

次いで小学生では「学校」が高く、中高生では「SNSやインターネット」の割合が高くなっている。

「その他」では、「母親」等家族が多く「このアンケートで」という回答もあった。

図表-2.4.2.2 ヤングケアラーについて知ったきっかけ（複数回答） (％)

	調査数（人）	テレビや新聞、ラジオ	雑誌や本	SNSやインターネット	広告やチラシ掲示物	イベントや交流会など	学校	友達・知り合いから聞いた	その他	答えられない	無回答・回答不備
小学5年生	1,271	66.9	8.7	13.4	14.6	0.9	20.4	4.6	5.6	0.6	2.2
中学2年生	2,226	67.8	16.4	34.2	14.5	1.7	25.7	5.6	2.9	0.0	0.8
高校2年生	2,545	69.0	9.8	38.5	10.6	1.6	30.5	3.7	2.0	0.0	1.0

※調査数は②ヤングケアラーの認知度で「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことがあるがよく知らない」と回答した児童生徒のみ集計

3. アンケート調査結果の詳細分析

ここからは、「世話をしている家族がいる」と回答した小学5年生、中学2年生、高校2年生の回答を合計して集計した。

※ただし、回答項目が異なる場合、「小学5年生」と「中学2年生・高校2年生」で集計している。

(1) 家族の世話の有無による学校生活等の状況

① 家族の世話の有無×家族構成

図表-3.1.1 家族の世話の有無×家族構成 (％)

	調査数 (人)	二世 代世帯	三世 代世帯	ひとり 親等世帯	一人 暮らし	その他 の世帯	無回答・ 回答不備
いる	962	51.6	27.5	10.4	0.0	9.3	1.2
いない	12,505	55.6	27.7	10.1	0.1	5.8	0.7

② 家族の世話の有無×健康状態

世話をしている家族が「いる」場合、「いない」場合に比べ、健康状態が「よくない・あまりよくない」の割合が高くなっている。

図表-3.1.2 家族の世話の有無×健康状態 (％)

	調査数 (人)	よい・ まあよい	ふつう	あまり よくない・ よくない	無回答・ 回答不備
いる	962	66.5	23.4	8.7	1.4
いない	12,505	74.4	20.9	4.2	0.5

③ 家族の世話の有無×出席状況

世話をしている家族が「いる」場合、「いない」場合に比べ、「たまに欠席する」、「よく欠席する」の割合が高くなっている。

図表-3.1.3 家族の世話の有無×出席状況 (％)

	調査数 (人)	ほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	無回答・回答不備
いる	962	63.2	27.5	7.6	1.7
いない	12,505	77.8	16.7	4.6	0.9

④ 家族の世話の有無×遅刻や早退の状況

世話をしている家族が「いる」場合、「いない」場合に比べ、遅刻や早退を「たまにする」、「よくする」の割合が高くなっている。

図表-3.1.4 家族の世話の有無×遅刻や早退の状況 (％)

	調査数 (人)	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答・回答不備
いる	962	70.7	19.3	6.6	3.4
いない	12,505	81.1	12.6	3.8	2.5

⑤ 家族の世話の有無×ふだんの学校生活等であてはまること

世話をしている家族が「いる」場合、「いない」場合に比べ、「あてはまるものはない」以外の全ての項目で割合が高い。特に「忘れ物が多い」、「先生に出す提出物が遅くなることが多い」、「授業中に居眠りすることが多い」、「宿題ができていないことが多い」が高くなっている。

図表-3.1.5 家族の世話の有無×ふだんの学校生活等であてはまること（複数回答）（%）

	調査数（人）	授業中に居眠りすることが多い	宿題ができていないことが多い	忘れ物が多い	課外活動、じゆく・習い事を休むことが多い	先生に出す提出物が遅くなることが多い	野外活動などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごす事が多い	学校では一人で過ごす事が多い	友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	あてはまるものはない	答えられない	無回答・回答不備
いる	962	25.8	24.9	27.3	9.1	26.1	1.8	3.1	9.0	7.7	35.4	2.6	3.3
いない	12,505	20.9	16.3	18.6	5.5	17.6	0.7	1.1	6.0	5.4	49.0	1.1	2.4

⑥ 家族の世話の有無×現在の悩みや困りごと

世話をしている家族が「いる」場合、小学生では「勉強や成績のこと」、「友達との関係のこと」、「将来のこと」、中高生では「進路のこと」、「学業成績のこと」などの項目で割合が高くなっている。

また、「特にない」などを除くほとんどの項目で割合が高い。

図表-3.1.6 家族の世話の有無×現在の悩みや困りごと（複数回答）

■小学5年生

(%)

	調査数(人)	友達との関係のこと	勉強や成績のこと	将来のこと	お金のこと	課外活動、じゅく・習い事を休むことが多い	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと（両親の仲がよくないなど）	病気やしょうがいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	特にない	その他	答えられない	無回答・回答不備
いる	306	16.7	21.9	14.1	8.5	2.3	5.6	4.6	3.3	4.6	58.2	1.3	2.6	0.7
いない	3,432	1.2	6.5	9.1	4.4	1.2	2.8	2.0	1.1	1.7	70.0	1.8	1.4	0.7

■中学2年生、高校2年生

(%)

	調査数(人)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費（教材費、部費）など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信講座含む）や習い事ができないこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	病気や障害のある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	特にない	その他	答えられない	無回答・回答不備
いる	656	19.8	40.2	49.5	18.6	9.8	3.4	10.1	9.9	8.8	6.9	11.1	27.4	2.3	2.7	2.0
いない	9,073	14.1	33.1	43.2	14.3	4.3	1.4	4.8	4.2	3.8	1.9	4.6	39.1	1.2	1.4	0.8

⑦ 家族の世話の有無×相談相手の有無

世話をしている家族が「いる」場合、「いない」場合に比べ、「相談に乗ってくれる人や話を聞いてくれる人がいる」と回答した割合が高くなっている。一方、「相談や話はしたくない」と回答した割合も高くなっている。

図表－3.1.7 家族の世話の有無×相談相手の有無

(%)

	調査数 (人)	相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人がいる	相談にのってくれる人や話を聞いてくれる人がいない	相談や話はしたくない	無回答・回答不備
いる	962	52.2	3.9	13.3	30.6
いない	12,505	48.7	1.9	9.3	40.1

(2) 性別による世話の状況の違い

① 性別×家族の世話の有無

世話をしている家族の有無については、性別による大きな差はみられない。

図表－3.2.1 性別×家族の世話の有無

(%)

	調査数 (人)	いる	いない	無回答
男性	6,738	6.5	90.2	3.3
女性	6,919	7.2	90.4	2.4

② 性別×世話を必要としている家族

世話を必要としている家族については、「父母」、「祖父母」については男性が高く、「きょうだい」については女性が高い。

図表－3.2.2 性別×世話を必要としている家族（複数回答）

(%)

	調査数 (人)	父母	祖父母	きょうだい	その他
男性	439	17.8	20.3	67.0	10.0
女性	502	11.8	14.7	73.1	7.0

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

③ 性別×世話の内容

世話を必要としている家族として、「父母」、「祖父母」、「きょうだい」と回答したもののについて、世話の内容を聞いたところ、いずれも複数回答が多く、その中でも、男女とも「見守り」の割合が最も高い。次いで、男性は「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が高く、女性は「きょうだいの世話や保育所などへの送迎など」が高い。

図表－3.2.3 性別×世話の内容（複数回答） (%)

	調査数（人）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所などへの送迎など	身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他
男性	439	31.7	22.8	15.5	16.4	4.3	16.4	56.5	0.9	3.2	1.4	7.3
女性	502	29.3	29.9	14.7	18.9	4.2	17.9	57.4	1.6	3.6	3.0	6.0

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

④ 性別×世話を始めた年齢

世話を始めた年齢については、いずれも「小学生（高学年）」の割合が高くなっている。

図表－3.2.4 性別×世話を始めた年齢 (%)

	調査数（人）	就学前	小学生（低学年）	小学生（高学年）	中学生以降	無回答
男性	439	18.7	20.0	22.3	18.0	21.0
女性	502	18.3	22.1	29.6	17.1	12.9

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

⑤ 性別×世話をしている頻度

世話をしている頻度については、性別による大きな差はみられないが「ほぼ毎日」の割合は女性の方が高い。

図表－3.2.5 性別×世話をしている頻度 (％)

	調査数 (人)	ほぼ毎日	週に3 ～ 5日	週に1 ～ 2日	1か月に 数日	その他	無回答
男性	439	47.4	19.6	13.7	6.6	4.0	8.7
女性	502	55.4	16.5	14.5	5.8	1.4	6.4

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

⑥ 性別×平日1日あたりの世話に費やす時間

平日1日あたりの世話に費やす時間については、女性は男性に比べ「7時間以上」の割合が高くなっている。

図表－3.2.6 性別×平日1日あたりの世話に費やす時間 (％)

	調査数 (人)	3時間未満	3～7時間未満	7時間以上	無回答
男性	439	46.6	24.6	6.2	22.6
女性	502	46.5	28.3	12.7	12.5

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

⑦ 性別×世話をすることに感じている大変さ

世話をすることに感じている大変さについては、男性は女性に比べて「身体的に大変である」の割合が高く、女性は男性に比べて「時間的余裕がない」の割合が高くなっている。

図表－3.2.7 性別×世話をすることに感じている大変さ（複数回答）（％）

	調査数 (人)	身体的に 大変である	精神的に 大変である	時間的 余裕がない	特に大変さは 感じていない	無回答
男性	439	14.4	14.6	10.9	64.5	7.3
女性	502	12.7	14.7	14.1	66.3	4.6

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

⑧ 性別×世話について相談した経験

世話について相談した経験が「ある」割合は女性のほうが高い。

図表－3.2.8 性別×世話について相談した経験（％）

	調査数 (人)	ある	ない	無回答
男性	439	14.4	79.7	5.9
女性	502	19.3	77.1	3.6

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

⑨ 性別×世話についての相談相手

世話についての相談相手では、男性、女性ともに、「家族（母、父、祖母、祖父、きょうだい）」が最も高くなっている。

女性は男性よりも「友人」、「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー」の割合が高くなっている。

図表-3.2.9 性別×世話についての相談相手（複数回答） (％)

	調査数（人）	家族（母、父、祖母、祖父、きょうだい）	親戚（おじ、おばなど）	友人	学校の先生（保健室の先生以外）	保健室の先生	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー	医師や看護師、その他病院の人	ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人	役所や保健福祉センターの人	近所の人	SNS上の知り合い	その他	無回答・回答不備
男性	63	68.3	9.5	31.7	17.5	6.3	3.2	0.0	0.0	0.0	1.6	6.3	0.0	3.2
女性	97	66.0	8.2	46.4	18.6	5.2	10.3	2.1	2.1	1.0	0.0	5.2	1.0	0.0

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒かつ、「⑤世話について相談した経験」の設問にて「ある」と回答した児童生徒のみ集計

⑩ 性別×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、男性、女性いずれも約60%が「特にない」と回答している。

女性の方が「自由に使える時間がほしい」、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」の割合が男性より高くなっている。

図表-3.2.10 性別×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）（%）

	調査数（人）	自分の状況について聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障害、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい	自分がしているお世話の全てを代わってくれる人やサービスがほしい	自分がしているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	家庭への経済的な支援	わからない	特にない	その他	無回答・回答不備
男性	439	5.2	3.6	1.8	1.8	1.8	7.1	5.9	6.4	3.4	8.4	63.8	2.5	5.0
女性	502	7.8	2.6	2.2	1.2	0.8	13.6	11.2	12.0	3.2	8.6	59.8	0.8	3.8

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

(3) 家族構成による世話の状況の違い

① 家族構成×世話を必要としている家族

二世帯世帯、三世帯世帯、ひとり親等世帯いずれも、世話を必要としている家族は「きょうだい」の割合が最も高い。

三世帯世帯では、次いで「祖父母」の割合が高くなっている。

ひとり親等世帯では、その他の家族構成よりも「父母」の割合が高い。

図表－3.3.1 家族構成×世話を必要としている家族（複数回答） (％)

	調査数 (人)	父母	祖父母	きょうだい	その他	無回答
二世帯世帯	496	15.5	6.3	81.9	4.6	2.0
三世帯世帯	265	9.4	38.9	57.7	7.5	3.0
ひとり親等世帯	100	24.0	12.0	67.0	7.0	3.0

② 家族構成×世話の内容

世話を必要としている家族として、父母、祖父母、きょうだいと回答したものについて、世話の内容を聞いたところ、二世帯世帯、三世帯世帯では「見守り」の割合が最も高い。ひとり親等世帯は「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」の割合が最も高く、次いで「見守り」の割合が高くなっている。

図表－3.3.2 家族構成×世話の内容（複数回答） (％)

	調査数（人）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所などへの送迎など	身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他	無回答・回答不備
二世帯世帯	496	27.6	31.9	15.1	19.0	2.2	17.1	56.7	1.0	3.4	0.8	4.8	7.1
三世帯世帯	265	32.1	25.3	16.2	18.1	8.7	20.0	66.0	1.9	4.9	5.3	8.3	3.8
ひとり親等世帯	100	45.0	25.0	14.0	18.0	5.0	11.0	44.0	2.0	1.0	2.0	6.0	9.0

③ 家族構成×世話を一緒にしている人

ひとり親等世帯では、世話をする人が「自分のみ」の割合が他の家族構成と比べ高くなっている。三世帯世帯では、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」の割合が他に比べ高くなっている。

図表－3.3.3 家族構成×世話を一緒にしている人（複数回答） (％)

	調査数（人）	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚（おじ、おばなど）	自分のみ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答・回答不備
二世帯世帯	496	60.1	49.8	9.7	6.0	39.1	3.2	10.7	1.0	2.0	10.3
三世帯世帯	265	61.9	40.0	29.4	19.6	36.2	6.8	9.4	4.2	1.1	7.5
ひとり親等世帯	100	52.0	10.0	6.0	6.0	30.0	4.0	16.0	1.0	0.0	16.0

④ 家族構成×世話をしている頻度

いずれの家族構成の場合も、「ほぼ毎日」が約半数となっている。

図表－3.3.4 家族構成×世話をしている頻度 (％)

	調査数（人）	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日	その他	無回答・回答不備
二世帯世帯	496	52.6	17.7	14.9	5.4	2.8	6.6
三世帯世帯	265	53.2	18.9	12.8	6.8	2.3	6.0
ひとり親等世帯	100	49.0	17.0	13.0	5.0	3.0	13.0

⑤ 家族構成×平日1日あたりの世話に費やす時間

世話に費やす時間については、ひとり親等世帯では、「7時間以上」の割合が他の家族構成と比べ高くなっている。

図表-3.3.5 家族構成×平日1日あたりの世話に費やす時間 (％)

	調査数 (人)	3時間未満	3～7時間未満	7時間以上	無回答・回答不備
二世帯世帯	496	48.2	26.6	9.1	16.1
三世帯世帯	265	45.3	28.7	9.4	16.6
ひとり親等世帯	100	35.0	29.0	13.0	23.0

⑥ 家族構成×世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

全ての学年で「特にない」と回答した割合が最も高い。

全ての学年でひとり親等世帯では「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」の割合が他の家族構成に比べてやや高く、中高生では加えて「自分の時間が取れない」、「睡眠が十分に取れない」の割合が高くなっている。

図表-3.3.6 家族構成×世話をしているために、やりたいけれどできていないこと（複数回答）

■小学5年生

(%)

	調査数（人）	学校に行きたくてもいけない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	自分の時間が取れない	特にない	その他	無回答・回答不備
二世帯世帯	172	1.2	1.2	7.6	5.8	5.2	0.0	9.3	76.2	1.2	6.4
三世帯世帯	83	0.0	0.0	1.2	3.6	2.4	1.2	12.0	71.1	0.0	13.3
ひとり親等世帯	17	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	5.9	76.5	0.0	11.8

■中学2年生、高校2年生

(%)

	調査数（人）	学校に行きたくてもいけない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	特にない	その他	無回答・回答不備
二世帯世帯	324	2.8	1.2	8.3	6.2	6.2	2.2	3.1	13.9	68.5	0.6	6.8
三世帯世帯	182	1.1	1.6	12.6	8.2	6.0	2.7	4.4	16.5	69.2	1.6	1.1
ひとり親等世帯	83	6.0	6.0	14.5	16.9	7.2	4.8	6.0	18.1	49.4	1.2	8.4

⑦ 家族構成×世話をすることに感じている大変さ

世話をすることに感じている大変さについては、ひとり親等世帯の「精神的に大変である」、「時間的余裕がない」の割合が他の家族構成に比べ高くなっている。

図表－3.3.7 家族構成×世話をすることに感じている大変さ（複数回答）（％）

	調査数（人）	身体的に大変である 体が疲れて大変	精神的に大変である 心が疲れて大変	時間的余裕がない 時間によゆうがなくて大変	特に大変さは感じていない	無回答・回答不備
二世世代世帯	496	11.9	10.7	11.5	69.0	5.6
三世世代世帯	265	15.1	17.7	13.2	64.9	4.2
ひとり親等世帯	100	13.0	23.0	20.0	51.0	10.0

⑧ 家族構成×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、ひとり親等世帯では、他の家族構成に比べ、特に「自分の状況について聞いてほしい」の割合が高くなっている。

図表－3.3.8 家族構成×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援（複数回答）（％）

	調査数（人）	自分の状況について聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障害、ケアのことなどについて	代わってくれる人やサービスがほしい	自分がしているお世話の全てを 代わってくれる人やサービスがほしい※	※自分がしているお世話の一部を 代わってくれる人やサービスがほしい※	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	家庭への経済的な支援	わからない	特にない	その他	無回答・回答不備
二世世代世帯	496	6.0	2.4	1.6	1.4	1.0	10.3	8.5	9.5	2.8	7.3	65.1	1.6	3.8	
三世世代世帯	265	5.7	2.6	1.9	1.5	1.5	11.7	7.9	7.9	3.8	10.6	58.1	1.5	3.4	
ひとり親等世帯	100	10.0	4.0	2.0	3.0	1.0	7.0	9.0	10.0	6.0	10.0	52.0	2.0	8.0	

(4) 平日1日あたりの世話に費やす時間による生活状況等

① 平日1日あたりの世話に費やす時間×健康状態

世話に費やす時間が1日3時間以上の場合、3時間未満に比べ、健康状態が「よくない・あまりよくない」の割合が高くなっている。

図表-3.4.1 平日1日あたりの世話に費やす時間×健康状態 (％)

	調査数 (人)	よい・まあよい	ふつう	あまりよくない・ よくない	無回答・ 回答不備
3時間未満	446	72.9	19.7	5.8	1.6
3～7時間未満	256	56.6	30.5	11.7	1.2
7時間以上	92	58.7	26.1	14.1	1.1

② 平日1日あたりの世話に費やす時間×出席状況

世話に費やす時間が1日3時間以上の場合、3時間未満に比べ、「たまに欠席する」、「よく欠席する」の割合が高くなっている。

図表-3.4.2 平日1日あたりの世話に費やす時間×出席状況 (％)

	調査数 (人)	ほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	無回答・ 回答不備
3時間未満	446	66.8	24.7	6.3	2.2
3～7時間未満	256	56.3	31.6	10.9	1.2
7時間以上	92	58.7	32.6	7.6	1.1

③ 平日1日あたりの世話に費やす時間×遅刻や早退の状況

世話に費やす時間が1日「3～7時間未満」の場合、3時間未満に比べ、「たまにする」、「よくする」の割合が高くなっている。

図表-3.4.3 平日1日あたりの世話に費やす時間×遅刻や早退の状況 (％)

	調査数(人)	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答・回答不備
3時間未満	446	77.4	15.3	3.8	3.5
3～7時間未満	256	63.3	23.8	11.3	1.6
7時間以上	92	72.8	19.6	5.4	2.2

④ 平日1日あたりの世話に費やす時間×ふだんの学校生活等であてはまること

学校生活等であてはまることについて、世話に費やす時間が1日3時間以上の場合、3時間未満に比べ、「先生に出す提出物が遅くなることが多い」、「授業中に居眠りすることが多い」、「忘れ物が多い」の割合が高くなっている。

また、1日7時間以上の場合、7時間未満に比べ、「宿題ができていないことが多い」の割合が高くなっている。

図表-3.4.4 平日1日あたりの世話に費やす時間×ふだんの学校生活等であてはまること

(複数回答) (％)

	調査数(人)	授業中に居眠りすることが多い	宿題ができていないことが多い	忘れ物が多い	課外活動、じゆく・習い事を休むことが多い	先生に出す提出物が遅くなることが多い	野外活動などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	おしゃべりしたりする時間が少ない	友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	あてはまるものはない	答えられない	無回答・回答不備
3時間未満	446	21.3	21.3	23.1	7.4	21.5	1.8	1.6	8.1	7.4	41.5	2.5	2.7	
3～7時間未満	256	28.9	27.7	29.7	12.9	33.6	1.2	4.3	9.4	7.8	30.1	2.0	3.1	
7時間以上	92	29.4	39.1	30.4	13.0	35.9	1.1	7.6	12.0	12.0	32.6	2.2	3.3	

⑤ 平日1日あたりの世話に費やす時間×現在の悩みや困りごと

世話に費やす時間について、小学生では「3～7時間未満」、中高生では3時間以上の場合、「3時間未満」の場合に比べて、多くの項目で割合が高くなっている。

図表-3.4.5 平日1日あたりの世話に費やす時間×現在の悩みや困りごと（複数回答）

■小学5年生

(%)

	調査数(人)	友達との関係のこと	勉強や成績のこと	将来のこと	お金のこと	休むことが多い	課外活動、じゅく・習い事を	自分と家族との関係のこと	(両親の仲がよくないなど)	家族内の人間関係のこと	病気やしょうがいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	特になし	その他	答えられない	無回答・回答不備
3時間未満	161	13.7	21.7	13.0	8.1	2.5		5.0	3.7	5.0	4.3	60.9	1.2	1.9	0.0	
3～7時間未満	54	16.7	22.2	16.7	11.1	5.6		9.3	7.4	1.9	7.4	55.6	0.0	3.7	0.0	
7時間以上	28	39.3	21.4	10.7	7.1	0.0		3.6	7.1	0.0	10.7	42.9	0.0	0.0	0.0	

■中学2年生、高校2年生

(%)

	調査数(人)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学校生活に必要なお金のこと	学費(教材費、部費)など	塾(通信講座含む)や習い事ができないこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと(両親の仲がよくないなど)	病気や障害のある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	特になし	その他	答えられない	無回答・回答不備
3時間未満	285	16.1	39.3	49.5	15.1	7.7	0.7	8.1	7.0	7.0	6.0	6.7	29.8	1.4	1.4	1.1	
3～7時間未満	202	20.8	46.0	55.4	22.3	12.4	6.4	12.4	10.4	10.9	6.9	13.9	24.8	2.5	2.0	1.5	
7時間以上	64	34.4	42.2	56.3	28.1	10.9	4.7	15.6	23.4	15.6	7.8	20.3	15.6	4.7	1.6	1.6	

⑥ 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話をすることに感じている大変さ

世話に費やす時間が長いほど、「身体的に大変である」、「精神的に大変である」の割合が高くなっている。

図表-3.4.6 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話をすることに感じている大変さ

(複数回答) (%)

	調査数 (人)	身体的に 大変である 体が 疲れて 大変	精神的に 大変である 心が 疲れて 大変	時間的 余裕が ない 時間 によ うが なく て 大 変	特に 大 変 さ は 感 じ て い な い	無 回 答 ・ 回 答 不 備
3時間未満	446	10.5	11.9	10.8	75.6	0.5
3～7時間未満	256	16.4	19.1	17.6	62.9	0.4
7時間以上	92	23.9	25.0	17.4	57.6	0.0

⑦ 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話について相談した経験

世話について相談した経験について、全ての世話に費やす時間において「ない」の回答の割合が高いが、1日あたりの世話に費やす時間が増えるほど「ある」の割合が高くなっている。

図表-3.4.7 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話について相談した経験 (%)

	調査数 (人)	あ る	な い	無 回 答 ・ 回 答 不 備
3時間未満	446	15.3	84.3	0.4
3～7時間未満	256	18.0	81.6	0.4
7時間以上	92	29.4	70.6	0.0

⑧ 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話について相談したことがない理由

全ての学年で「誰かに相談するほどの悩みではない」の割合が最も高いが、世話に費やす時間が1日「7時間以上」の場合、7時間未満の場合と比べて、「誰に相談するのがよいかわからない」、「相談しても状況が変わるとは思えない」の割合が高くなっている。

図表-3.4.8 平日1日あたりの世話に費やす時間×世話について相談したことがない理由

(複数回答)

■小学5年生

(%)

	調査数(人)	誰かに相談するほどの悩みではない	誰に相談するのがよいかわからない	相談できる人が身近にいない	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わるとは思えない	その他	無回答・回答不備
3時間未満	135	73.3	3.0	3.0	5.2	5.2	10.4	10.4	3.0
3～7時間未満	43	74.4	2.3	2.3	7.0	2.3	11.6	4.7	2.3
7時間以上	24	62.5	20.8	0.0	8.3	12.5	12.5	8.3	4.2

■中学2年生、高校2年生

(%)

	調査数(人)	誰かに相談するほどの悩みではない	家族以外の人に相談するほどの悩みではない	誰に相談するのがよいかわからない	相談できる人が身近にいない	家族のことのため話にくい	家族のことを知られたくない	家族に対して偏見を持たれたくない	相談しても状況が変わるとは思えない	その他	無回答・回答不備
3時間未満	241	83.8	10.4	3.3	3.3	3.3	2.1	3.7	7.9	3.3	3.3
3～7時間未満	166	73.5	14.5	6.0	4.8	8.4	4.8	7.2	16.3	6.0	0.6
7時間以上	41	70.7	19.5	12.2	2.4	9.8	7.3	2.4	22.0	4.9	0.0

※調査数は「⑤世話について相談した経験」の設問にて「ない」と回答した児童生徒のみ集計

(5) 世話を必要としている家族と世話の状況等

① 世話を必要としている家族×（回答者の）性別

「父母」、「祖父母」の世話をしている割合は「男性」が高く、「きょうだい」の世話をしている割合は「女性」が高い。

図表-3.5.1 世話を必要としている家族×（回答者の）性別 (％)

	調査数 (人)	男性	女性	その他	回答不備 無回答
父母	142	54.9	41.5	1.4	2.2
祖父母	169	52.7	43.8	3.0	0.5
きょうだい	675	43.6	54.4	1.9	0.1
その他	79	55.7	44.3	0.0	0.0

② 世話を必要としている家族×世話を一緒にする人

全ての場合で「母親」と世話をしている割合が最も高い。

世話を必要としている人が「きょうだい」の場合、次いで「父親」、「きょうだい」の割合が高くなっている。

図表-3.5.2 世話を必要としている家族×世話を一緒にする人（複数回答） (％)

	調査数 (人)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚（おじ、おばなど）	自分のみ	福祉サービス（ヘルパーなど）を利用	その他	無回答・回答不備
父母	142	31.0	19.7	9.2	6.3	26.1	2.1	21.8	0.7	4.9	14.1
祖父母	169	49.1	26.6	16.0	13.0	27.8	14.8	16.6	10.1	1.2	4.1
きょうだい	675	63.4	43.4	17.3	11.7	40.9	4.4	10.1	0.9	0.9	8.0

③ 世話を必要としている家族×世話を始めた年齢

世話を必要としている家族が「父母」の場合、「就学前」と「中学生以降」の割合が高く、「祖父母」の場合、「中学生以降」の割合が高い。また、「きょうだい」の世話を始めたのは「小学生（高学年）」、「小学校（低学年）」の割合が高くなっている。

図表-3.5.3 世話を必要としている家族×世話を始めた年齢 (％)

	調査数 (人)	就学前 【～6歳】	小学生 (低学年) 【7～9歳】	小学生 (高学年) 【10～12歳】	中学生以降 【13歳～】	無回答・ 回答不備
父母	142	21.1	9.2	11.3	19.0	39.4
祖父母	169	16.1	13.7	19.0	33.3	17.9
きょうだい	675	19.9	26.2	28.6	13.0	12.3

④ 世話を必要としている家族×世話をしている頻度

世話を必要としている家族が「きょうだい」、「父母」の場合、「祖父母」の場合と比べ、「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

図表-3.5.4 世話を必要としている家族×世話をしている頻度 (％)

	調査数 (人)	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1か月に数日	その他	無回答
父母	142	47.2	11.3	14.1	9.2	7.7	10.5
祖父母	169	37.9	21.3	21.3	11.2	3.6	4.7
きょうだい	675	54.4	19.0	15.3	4.9	1.8	4.6

⑤ 世話を必要としている家族×平日1日あたりの世話に費やす時間

全ての場合で「3時間未満」の割合が最も高いが、世話を必要としている家族が「きょうだい」の場合、他の場合に比べて、「3～7時間未満」、「7時間以上」の割合が高くなっている。

図表-3.5.5 世話を必要としている家族×平日1日あたりの世話に費やす時間 (%)

	調査数 (人)	3時間未満	3～7時間未満	7時間以上	無回答・回答不備
父母	142	31.7	22.5	8.5	37.3
祖父母	169	42.6	27.8	7.1	22.5
きょうだい	675	47.6	28.6	11.1	12.7

⑥ 世話を必要としている家族×世話をすることに感じている大変さ

全ての場合で「特に大変さは感じていない」が最も高いが、世話を必要としている家族が「父母」の場合、「体が疲れて大変・身体的に大変である」の割合が高く、「祖父母」の場合は、「心が疲れて大変・精神的に大変である」の割合が、他の場合に比べて高くなっている。

図表-3.5.6 世話を必要としている家族×世話をすることに感じている大変さ (複数回答)

(%)

	調査数 (人)	体が疲れて大変 身体的に大変である	心が疲れて大変 精神的に大変である	時間的余裕がない 時間によゆうがなくて大変	特に大変さは感じていない	無回答・回答不備
父母	142	21.8	16.2	16.2	50.7	12.7
祖父母	169	17.2	26.6	16.6	52.7	2.4
きょうだい	675	12.6	13.5	12.6	69.5	3.4

⑦ 世話を必要としている家族×世話について相談した経験

世話を必要としている家族が父母の場合、他の場合に比べて、世話について相談した経験が「ある」の回答が高くなっている。

図表－3.5.7 世話を必要としている家族×世話について相談した経験 (％)

	調査数 (人)	ある	ない	無回答・ 回答不備
父母	142	21.8	67.6	10.6
祖父母	169	18.3	81.7	0.0
きょうだい	675	17.0	80.3	2.7

(6) 世話をすることに感じている大変さによる世話の状況の違い

① 世話をすることに感じている大変さ×世話を必要としている家族の状況

「体が疲れて大変」、「心が疲れて大変」、「時間に余裕がなくて大変」のいずれにおいても、「若い（自分より小さい子ども）」で割合が高く、次いで「高齢」が高くなっている。

図表-3.6.1 世話をすることに感じている大変さ×世話を必要としている家族の状況

(複数回答)

■小学5年生

(%)

	調査数(人)	お年寄り(65歳以上)	小さい子ども 自分より	介護が必要	身体にしょうがいがある	病気	その他	無回答・回答不備
体が疲れて大変	47	17.0	68.1	4.3	4.3	6.4	6.4	19.1
心が疲れて大変	25	16.0	64.0	16.0	12.0	12.0	4.0	8.0
時間に余裕がなくて大変	22	27.3	68.2	0.0	0.0	0.0	4.5	13.6
特に大変さは感じていない	213	9.9	75.6	2.3	2.8	3.3	10.3	9.4

■中学2年生、高校2年生

(%)

	調査数(人)	高齢(65歳以上)	若い	要介護(介護が必要な状態)	認知症	身体障害	知的障害	精神疾患(疑い含む)	依存症(アルコール、ギャンブルなど 疑い含む)	精神疾患、依存症以外の病気	その他	無回答・回答不備
体が疲れて大変	85	31.8	49.4	5.9	7.1	9.4	8.2	7.1	1.2	1.2	9.4	11.8
心が疲れて大変	117	31.6	51.3	8.5	16.2	12.0	12.0	10.3	3.4	3.4	5.1	2.6
時間に余裕がなくて大変	101	24.8	59.4	4.0	6.9	13.9	9.9	10.9	4.0	4.0	4.0	3.0
特に大変さは感じていない	412	14.3	67.5	5.1	3.9	4.9	2.2	0.2	0.0	1.2	9.0	4.1

② 世話をすることを感じている大変さ×世話の内容

「時間に余裕がなくて大変」と回答した場合は「家事」の割合が高く、「感情面のサポート」、「見守り」、「きょうだいの世話や保育所などへの送迎など」と続く。

「体が疲れて大変」「心が疲れて大変」と回答した場合は、いずれも「見守り」が高く、次いで「家事」が高くなっている。

図表-3.6.2 世話をすることを感じている大変さ×世話の内容（複数回答）（%）

	調査数（人）	家事（食事の準備や掃除、洗濯）	きょうだいの世話や保育所などへの送迎など	身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他
体が疲れて大変	132	54.5	31.8	42.4	31.8	11.4	43.9	61.4	3.8	4.5	2.3	8.3
心が疲れて大変	142	55.6	28.2	29.6	21.8	16.2	50.0	57.7	6.3	8.5	3.5	7.0
時間に余裕がなくて大変	123	77.2	50.4	43.1	39.0	21.1	57.7	54.5	8.1	9.8	3.3	4.9
特に大変さは感じていない	625	31.8	27.5	20.6	14.4	9.0	36.5	56.8	1.4	1.8	5.1	9.6

③ 世話をすることを感じている大変さ×世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

「時間に余裕がなくて大変」と回答している場合、多くの項目で他の場合に比べて割合が高くなっている。

また、「心が疲れて大変」と回答している場合、他の場合に比べて「どうしても学校を遅刻・早退してしまう」の割合が高い。

図表-3.6.3 世話をすることを感じている大変さ×世話をしているために、
やりたいけれどできていないこと（複数回答）

■小学5年生

(%)

	調査数（人）	学校に行きたくてもいけない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	もしくは辞めざるを得なかった	部活や習い事ができない、 もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	特にな	その他	無回答・回答不備
体が疲れて大変	47	4.3	4.3	19.1	19.1	12.8	2.1	25.5	61.7	2.1	2.1	
心が疲れて大変	25	4.0	8.0	8.0	20.0	4.0	4.0	32.0	48.0	12.0	8.0	
時間に余裕がなくて大変	22	4.5	4.5	36.4	31.8	31.8	9.1	68.2	18.2	4.5	0.0	
特に大変さは感じていない	213	0.9	0.9	3.3	1.4	2.8	0.5	3.8	90.6	1.4	1.4	

■中学2年生、高校2年生

(%)

	調査数（人）	学校に行きたくてもいけない	遅刻・早退してしまう	どうしても学校を勉強する時間が取れない	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	もしくは辞めざるを得なかった	部活や習い事ができない、 もしくは進路を変更した	進路の変更を考えざるを得ない、 もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	特にな	その他	無回答・回答不備
体が疲れて大変	85	11.8	3.5	22.4	23.5	9.4	4.7	7.1	43.5	29.4	1.2	2.4		
心が疲れて大変	117	5.1	7.7	29.1	27.4	12.0	5.1	11.1	43.6	28.2	2.6	0.0		
時間に余裕がなくて大変	101	2.0	5.9	39.6	30.7	12.9	6.9	12.9	47.5	28.7	1.0	1.0		
特に大変さは感じていない	412	1.0	0.7	3.6	2.2	3.4	1.5	1.5	5.6	86.4	1.0	1.9		

④ 世話をすることを感じている大変さ×世話に関する相談経験の有無

「体が疲れて大変」、「心が疲れて大変」、「時間に余裕がなくて大変」ともに、約70%が相談経験がないと回答している。

図表-3.6.4 世話をすることを感じている大変さ×世話に関する相談経験の有無 (%)

	調査数 (人)	ある	ない	無回答
体が疲れて大変	132	28.8	68.2	3.0
心が疲れて大変	142	32.4	66.2	1.4
時間に余裕がなくて大変	123	28.5	69.1	2.4
特に大変さは感じていない	625	13.4	86.4	0.2

⑤ 世話をすることを感じている大変さ×世話の悩みについて聞いてくれる人の有無

全ての場合で「いない」の割合が高いが、「特に大変さは感じていない」場合、「いる」との回答が43.8%と、他の場合に比べて高くなっている。

図表-3.6.5 世話をすることを感じている大変さ×世話の悩みについて聞いてくれる人の有無 (%)

	調査数 (人)	いる	いない	無回答
体が疲れて大変	132	28.8	44.7	26.5
心が疲れて大変	142	30.3	35.2	34.5
時間に余裕がなくて大変	123	30.9	36.6	32.5
特に大変さは感じていない	625	43.8	45.2	11.0

(7) ヤングケアラーの自己認識による生活状況、世話の状況の違い

① ヤングケアラーの自己認識×健康状態

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、「よくない・あまりよくない」の割合が高くなっている。

図表-3.7.1 ヤングケアラーの自己認識×健康状態 (％)

	調査数 (人)	よい・まあよい	ふつう	よくない・ あまりよくない	無回答・ 回答不備
あてはまる	209	65.1	22.0	12.0	0.9
あてはまらない	10,751	75.8	20.0	3.8	0.4
わからない	2,165	63.2	27.1	8.4	1.3

② ヤングケアラーの自己認識×出席状況

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、「たまに欠席する」、「よく欠席する」の割合が高くなっている。

図表-3.7.2 ヤングケアラーの自己認識×出席状況 (％)

	調査数 (人)	ほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	無回答
あてはまる	209	72.2	22.0	4.3	1.5
あてはまらない	10,751	78.5	16.5	4.2	0.8
わからない	2,165	68.6	21.9	7.8	1.7

③ ヤングケアラーの自己認識×遅刻や早退の状況

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合、「あてはまらない」の場合に比べ、遅刻や早退を「たまにする」、「よくする」の割合が高くなっている。

図表-3.7.3 ヤングケアラーの自己認識×遅刻や早退の状況 (％)

	調査数 (人)	ほとんど しない	たまに する	よく する	無回 答
あてはまる	209	77.0	14.4	5.3	3.3
あてはまらない	10,751	81.9	12.1	3.6	2.4
わからない	2,165	74.0	17.6	5.9	2.5

④ ヤングケアラーの自己認識×ふだんの学校生活等であてはまること

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合、「あてはまらない」の場合に比べ、ほとんどの項目で割合が高くなっており、特に「授業中に居眠りすることが多い」、「宿題ができていないことが多い」、「忘れ物が多い」、「先生に出す提出物が遅くなることが多い」などの項目で割合が高くなっている。

図表-3.7.4 ヤングケアラーの自己認識×ふだんの学校生活等であてはまること (複数回答)

(％)

	調査数 (人)	授業中に居眠りすることが多い	宿題ができていないことが多い	忘れ物が多い	課外活動、じゆく・習い事を休むことが多い	先生に出す提出物が遅くなることが多い	野外活動などの宿泊行事を欠席する	保健室で過ごす事が多い	学校では一人で過ごす事が多い	友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	あてはまるものはない	答えられない	無回答・回答不備
あてはまる	209	34.9	25.8	18.7	9.6	24.9	1.9	4.8	12.0	10.0	33.0	1.4	3.3
あてはまらない	10,751	22.3	15.6	17.8	5.2	16.9	0.6	0.9	6.1	5.5	50.4	0.8	2.5
わからない	2,165	29.7	22.6	25.2	8.4	24.1	1.4	2.1	6.5	5.6	38.0	2.7	2.3

⑤ ヤングケアラーの自己認識×現在の悩みや困りごと

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、ほとんどの項目で割合が高くなっている。「友達との関係のこと」、「自分と家族との関係のこと」、「家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）」、「自分のために使える時間が少ないこと」などについては「あてはまる」と「あてはまらない」の差が大きい。

図表-3.7.5 ヤングケアラーの自己認識×現在の悩みや困りごと（複数回答）

■小学5年生

(%)

	調査数(人)	友達との関係のこと	勉強や成績のこと	将来のこと	お金のこと	を休むことが多い 課外活動、じゅく・習い事	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと (両親の仲がよくないなど)	病気やしょうがいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	特になし	その他	答えられない	無回答・回答不備
あてはまる	31	29.0	12.9	12.9	6.5	3.2	16.1	19.4	3.2	6.5	45.2	3.2	0.0	0.0
あてはまらない	3,018	12.6	13.1	9.0	3.8	1.3	2.1	1.6	1.0	1.4	71.0	1.7	1.1	0.7
わからない	453	18.8	22.3	12.4	9.7	1.5	7.9	4.9	3.1	5.5	60.9	1.8	2.2	1.1

■中学2年生、高校2年生

(%)

	調査数(人)	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費(教材費、部費)など学校生活に必要なお金のこと	塾(通信講座含む)や習い事ができないこと	家庭の経済的状況のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと(両親の仲がよくないなど)	病気や障害のある家族のこと	自分のために使える時間が少ないこと	特になし	その他	答えられない	無回答・回答不備
あてはまる	178	23.6	41.0	48.3	16.3	9.6	5.6	14.0	10.1	9.6	6.2	16.3	28.7	2.2	1.7	2.2
あてはまらない	7,733	14.0	33.4	43.5	14.4	4.1	1.3	4.4	3.8	3.7	2.0	4.0	38.9	1.1	1.2	0.7
わからない	1,712	15.9	34.7	44.5	15.3	6.2	2.0	7.7	8.2	6.0	3.0	8.6	37.4	1.8	2.5	1.4

⑥ ヤングケアラーの自己認識×世話を一緒にしている人

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合は、他の回答と比べて、世話をしている人は「自分のみ」と回答した割合が高くなっている。

図表-3.7.6 ヤングケアラーの自己認識×世話を一緒にしている人（複数回答）（%）

	調査数 (人)	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい	親戚 (おじ、おばなど)	自分のみ	福祉サービス (ヘルパーなど) を利用	その他	無回答・ 回答不備
あてはまる	69	47.8	30.4	18.8	4.3	21.7	7.2	17.4	5.8	1.4	8.7
あてはまらない	472	67.6	52.1	17.6	9.7	41.5	5.5	8.9	2.3	1.3	8.3
わからない	311	61.1	39.2	16.4	12.5	36.7	5.5	10.6	2.9	1.9	9.0

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

⑦ ヤングケアラーの自己認識×世話をしている頻度

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合は、他と比べ、世話の頻度について「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

図表-3.7.7 ヤングケアラーの自己認識×世話をしている頻度（%）

	調査数 (人)	ほぼ毎日	週に 3 〜 5日	週に 1 〜 2日	1 か月に 数日	その他	無回答
あてはまる	69	69.6	14.5	5.8	7.2	0.0	2.9
あてはまらない	472	50.2	20.3	15.3	5.7	2.1	6.4
わからない	311	53.1	17.7	15.4	5.8	2.9	5.1

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

⑧ ヤングケアラーの自己認識×平日1日あたりの世話に費やす時間

ヤングケアラーに「あてはまる」と回答した場合、世話に費やす時間が3時間以上の割合が高い。

図表-3.7.8 ヤングケアラーの自己認識×平日1日あたりの世話に費やす時間 (％)

	調査数 (人)	3時間未満	3～7時間未満	7時間以上	無回答・回答不備
あてはまる	69	24.6	36.3	20.3	18.8
あてはまらない	472	54.9	25.2	7.4	12.5
わからない	311	43.8	30.2	11.9	14.1

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

⑨ ヤングケアラーの自己認識×世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合は、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、小学生では「自分の時間が取れない」、「睡眠が十分に取れない」の割合が高くなっている。

中高生では「自分の時間が取れない」、「睡眠が十分に取れない」が高く、次いで「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」、「学校に行きたくてもいけない」、「進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した」などの割合も高くなっている。

図表-3.7.9 ヤングケアラーの自己認識×世話をしているために、
やりたいけれどできていないこと（複数回答）

■小学5年生

(%)

	調査数(人)	学校に行きたくてもいけない	遅刻・早退してしまう	どうしても学校を勉強する時間が取れない	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	もしくは辞めざるを得なかった	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	自分の時間が取れない	特になし	その他	無回答・回答不備
あてはまる	11	0.0	9.1	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	18.2	45.5	0.0	9.1	
あてはまらない	160	0.6	1.3	4.4	3.8	4.4	0.0	0.0	5.6	81.3	1.3	5.6	
わからない	93	1.1	0.0	8.6	6.5	3.2	0.0	0.0	15.1	71.0	1.1	7.5	

■中学2年生、高校2年生

(%)

	調査数(人)	学校に行きたくてもいけない	遅刻・早退してしまう	どうしても学校を勉強する時間が取れない	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	もしくは辞めざるを得なかった	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	特になし	その他	無回答・回答不備
あてはまる	58	15.5	12.1	22.4	25.9	3.4	10.3	12.1	31.0	27.6	1.7	1.7		
あてはまらない	312	1.0	1.6	5.8	3.2	3.8	0.6	1.6	7.4	79.2	0.6	4.5		
わからない	218	1.4	0.5	15.6	11.5	9.6	2.8	5.0	22.5	61.5	1.4	3.2		

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

⑩ ヤングケアラーの自己認識×世話をすることを感じている大変さ

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合は、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、「身体的に大変である」、「精神的に大変である」、「時間的余裕がない」のいずれの項目も割合が高くなっている。

図表-3.7.10 ヤングケアラーの自己認識×世話をすることを感じている大変さ（複数回答）

(%)

	調査数 (人)	身体的に 大変である 体が 疲れて 大変	精神的に 大変である 心が 疲れて 大変	時間的 余裕が ない 時間 によ うが なく て 大 変	特に 大 変 さ は 感 じ て い な い	無 回 答 ・ 回 答 不 備
あてはまる	69	36.2	40.6	31.9	31.9	1.4
あてはまらない	472	9.7	10.6	6.4	76.1	3.6
わからない	311	14.1	16.4	19.6	61.4	2.9

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

⑪ ヤングケアラーの自己認識×世話についての相談の有無

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合は、他の場合と比べ、世話について相談したことが「ある」との割合が高くなっている。

「あてはまる」と回答した場合の約60%、「あてはまらない」、「わからない」と回答した場合の約80%が相談したことが「ない」と回答している。

図表-3.7.11 ヤングケアラーの自己認識×世話についての相談の有無

(%)

	調査数 (人)	ある	ない	無 回 答
あてはまる	69	34.8	60.9	4.3
あてはまらない	472	15.0	82.8	2.2
わからない	311	18.3	79.7	2.0

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

⑫ ヤングケアラーの自己認識×世話について話を聞いてくれる人の有無

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」、「わからない」と回答した場合は、「あてはまらない」と回答した場合に比べ、世話について話を聞いてくれる人が「いない」の割合が高くなっている。

図表-3.7.12 ヤングケアラーの自己認識×世話について話を聞いてくれる人の有無 (%)

	調査数 (人)	いる	いない	無回答
あてはまる	69	37.7	21.7	40.6
あてはまらない	472	62.9	18.2	18.9
わからない	311	46.0	31.8	22.2

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

⑬ ヤングケアラーの自己認識×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

ヤングケアラーかどうかに対して「あてはまる」と回答した場合は、他の場合に比べ、「自分の状況について聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」など多くの項目で割合が高くなっている。

図表-3.7.13 ヤングケアラーの自己認識×学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援 (複数回答) (%)

	調査数 (人)	自分の状況について聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	わかりやすく説明してほしい	家族の病気や障害、ケアのことなどについて代わってくれる人やサービスがほしい	自分がしているお世話を全てを代わってくれる人やサービスがほしい※	※自分がしているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい※	自由に使える時間がほしい	進路や就職など将来の相談にのってほしい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	家庭への経済的な支援	わからない	特にない	その他	無回答・回答不備
あてはまる	69	23.2	11.6	4.3	7.2	4.3	21.7	10.1	14.5	4.3	5.8	24.6	4.3	2.9	
あてはまらない	472	3.6	1.7	0.8	0.4	0.4	6.8	7.4	8.5	3.2	6.1	71.4	0.6	1.1	
わからない	311	6.4	2.3	2.9	1.6	0.3	13.8	9.3	10.6	4.2	12.5	59.8	1.6	1.3	

※調査数は「①世話をしている家族の有無」の設問にて、世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のみ集計

4. アンケート調査 自由意見

アンケート調査において、さまざまな自由意見が寄せられた。ここでは、その一部を紹介する。以下に記載する意見は、原文のままではないが、なるべく回答者の表現を用いる形としている。

(1) 小学生の自由意見

もし友達や、親戚がヤングケアラーだったら、もっと相談してほしい。
相談が気軽にできる施設を増やしていくべきだと思う。 そして、このようなアンケートを定期的に行えばよいと思う。
ヤングケアラーの人を支えるボランティアを作る。 (もしあるなら CM や広告で知らせる)
元々ヤングケアラーだった人が、ヤングケアラーの相談を聞いてあげたり、ヤングケアラーが集まったお話をを行うなどの SNS で安心して気軽に相談できるような取り組みをしてほしい。
ヤングケアラーの人が気軽に相談できて、ヤングケアラーの人が普段している家での仕事を手伝うことができる「〇〇センター」的な所があるといいと思います。
悩み相談直通の電話の普及。 介護している人には施設に優先に入所できるような特権と、学習面では行政が勉強をみてくれるという補習みたいなものがあるといいと思います。
家族のためにお手伝いする事と、ヤングケアラーの違いがわからない。ヤングケアラーと言われると自分が可哀想なのか不安になる。おじいちゃんやおばあちゃんの為にお手伝いしてあげたりするのが悪い事なのかと思う。
そのヤングケアラーにまわりが寄り添って話を言える所まで聞いたりするなどで、ヤングケアラーが生きにくいようにして欲しいと思います。よろしくお願いします。

(2) 中学生の自由意見

障害がある人や、体が不自由になり動けない人がすぐ行けるように老人ホームや介護施設を多く造る。そして、その施設に行くための手続きを中学生や高校生が分かるような手続きにする。
入学する前などに、家庭調査表をきちんと確認しておいたり、介護が必要な家族がいるかどうかを記入できる欄があればいいのかなと思います。
ヤングケアラーになっている人は自分がヤングケアラーなのか分からないし、もしそうだとすると、世の中には自分よりも大変なヤングケアラーがいると思って相談できない。また、そもそも相談する時間が無いと思います。
心のケアをするために話すこと。

家族を安心して預けられる場所と自分の第二の家となる場所が必要だと思う。
ヤングケアラーの家庭は生活困窮の場合が多いと思うので、経済支援や補助があればいいと思うのと、利用できる制度を知らない場合もあるので、知る機会を作る必要があると思います。
周りの人の声がけ 近隣からの差し入れ 定期的なアンケートの実施 家事のお手伝い 家の中の状況確認。

(3) 高校生の自由意見

近くにヤングケアラーはいませんが、その人たちが少なからず苦勞しているのは知っているので、できるだけ負担が減るように休める場所などがあると良いと思います。
もし悩んでいる困っていると相談を受けたら、相手の立場になって話を聞く。解決に繋がらなくても聞くことが大切だと思う。
友人間でも触れづらい内容だと思うので、本人だけでなく気づいた人が手軽に相談できプライバシーが守られる施設が必要だと思う。
民間の学習支援や福祉サービスを提供する。
誰がそうなのか把握すること。 しかし把握されたくない人の方が多いそうであるため(あくまで想像)難しい。
その人がヤングケアラーだと自覚でき、またそれに合った適切な対応ができる環境が必要だと思う。
ボランティア的な何か助けられる事をしてみたいので、学校などにポスター等を貼って欲しいです。
ヤングケアラーが高校生だと、自分でバイトをして家のお金を稼げると見なされ、受けられる補助が少なくなるとヤングケアラーの友達から聞いた。しかし、現実的には厳しくお世話のために学校を休むことも少なくないので、制度が変わり高校生らしい生活を送れるようにして欲しい。
地域全体で子育てをしていくような雰囲気があればいいと思います。
市町村の役員の方がヤングケアラーの人に対してもっと手を差し伸べてあげる。 なにか起きてからではなく、事前に防げるようにして欲しい。

5. 調査結果のまとめと考察

(1) 調査結果のまとめ

① 家族の世話をしている児童生徒

世話をしている家族がいると回答したのは、小学5年生で7.9%、中学2年生で7.3%、高校2年生で5.8%であった。

② 世話を必要としている家族と世話の状況

世話を必要としている家族は、いずれの学年でも「きょうだい」の割合が最も高く、小学5年生は73.5%、中学2年生は76.2%、高校2年生は59.7%であった。

きょうだいの世話をしている場合、世話を始めた時期として、「小学生（低学年）」、「小学生（高学年）」の時から、と回答した割合が高かった。世話の内容としては、「見守り」や「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」の割合が高く、世話をしている頻度として、「ほぼ毎日」の回答が過半数を超えている。一方で、世話について相談した経験については、「ある」と回答した割合が、他の場合と比べて低くなっている。

父母の世話をしている場合、他の場合と比べ、世話をする人として、「自分のみ」と回答した割合が高い。また、世話の内容としては、「家事」の割合が高く、世話をするに感じている大変さについては、「身体的に大変である（体が疲れて大変）」の割合が高くなっている。

祖父母の世話をしている場合、他の場合と比べ、世話を一緒にする人として、「親戚（おじ、おばなど）」及び「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」の割合が高い。世話の内容としては「見守り」、「家事」や「感情面のサポート（話し相手になるなど）」が高く、世話をするに感じている大変さについては、「精神的に大変である（心が疲れて大変）」が高くなっている。

③ 家族構成ごとの状況

二世帯世帯では、きょうだいの世話が他より多く、同居の大人が多くとも、児童生徒が家族の世話を担う可能性があることに留意が必要である。

ひとり親等世帯では、二世帯世帯、三世帯世帯の場合に比べ、世話を一緒にしている人として「自分のみ」の割合が高い。平日1日あたりの世話に費やす時間としても、「3時間以上」の割合が他の家族構成に比べて高い状況にある。

また、ひとり親等世帯では、世話をしているためにできないこととして、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」の割合が高く、特に中高生では、「睡眠が十分に取れない」、「学校に行きたくてもいけない」など、多くの項目で他の家族構成の場合よりも割合が高くなっている。さらに、必要な支援については、「自分の状況について聞いてほしい」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」、「家庭への経済的な支援」をはじめ

として多くの項目で割合が高く、必要な支援が「わからない」と回答した割合も、他の家族構成の場合よりも高くなっている。

④ 家族の世話をしていることでの影響

世話をしている人が「いる」と回答している場合、健康状況は「よくない」、「あまりよくない」、学校の出席状況は「たまに欠席する」、「よく欠席する」、遅刻や早退を「たまにする」、「よくする」と回答した児童生徒の割合が高くなっている。

学校生活においては、「宿題ができていないことが多い」、「忘れ物が多い」、「先生に出す提出物が遅くなることが多い」などの割合が高くなっている。

一方、抱えている悩みや困りごととして、「学業成績のこと（勉強や成績のこと）」、「進路のこと（将来のこと）」、「家庭の経済的状況のこと（お金のこと）」、「自分と家族との関係のこと」、「自分のために使える時間が少ないこと」など、多くの項目で家族の世話をしていない場合を上回っており、悩みや困りごとを抱えている割合が高いことが分かる。

⑤ 世話に費やす時間の長さが及ぼす影響

世話に費やす時間が「3～7時間未満」、「7時間以上」である児童生徒は、「3時間未満」の場合よりも、健康状態が「よくない・あまりよくない」の割合が高くなっている。

また、世話をすることに感じている大変さについては、世話に費やす時間が3時間以上の場合、「身体的に大変である（体が疲れて大変）」、「精神的に大変である（心が疲れて大変）」、「時間的余裕がない（時間によゆうがなくて大変）」のいずれも3時間未満の場合よりも非常に高くなっており、さらに、「7時間以上」の場合には「身体的に大変である（体が疲れて大変）」の割合が著しく高い。

一方、世話に費やす時間が3時間以上になると、「宿題ができていないことが多い」「忘れ物が多い」「課外活動、じゅく・習い事を休むことが多い」などの項目で割合が高くなっている。

⑥ 家族の世話の有無とヤングケアラーとしての自己認識

世話をしている家族が「いる」と回答した児童生徒のうち、自身がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した割合は、小学生5年生で3.6%、中学2年生で5.9%、高校2年生で12.2%となっている。

自身がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した場合は、「あてはまらない」と回答した場合よりも、学校の出席状況について、「たまに欠席する」の割合が高い。また、世話に費やす時間については、「3～7時間未満」、「7時間以上」の割合が非常に高く、世話をすることに感じている大変さについても、「身体的に大変である」、「精神的に大変である」、「時間的余裕がない」の全てで、「あてはまらない」と回答した場合を大きく上回っており、世

話の負担感が非常に大きい状況にあることが分かる。

自身がヤングケアラーにあてはまるか「わからない」と回答した場合も、「あてはまらない」と回答した場合と比べて学校の欠席や早退の割合が高く、世話に費やす時間についても長い。世話をすることを感じている大変さについても、「あてはまらない」の場合を大きく上回っており、世話の負担が大きい傾向にある。

(2) 考察

●今回の調査は、学校を通して調査用紙等を児童生徒に配布し、任意の無記名アンケート調査として実施した。回収率向上を図るためWebでの回答環境を設け、小学生は紙またはWebでの回答、中高生は原則Webでの回答としたが、回収率は全体で35.5%に留まった。

●家族の世話をしている影響として、欠席、遅刻や早退が多いほか、忘れ物、提出書類の遅れ、宿題や課題ができていないことなどが多く、また、健康状態が「よくない」割合が高いなど、家族の世話を行っていない児童生徒と比べ、学校生活や健康状態に何らかの支障が生じる傾向にあると考えられる。

●自分がヤングケアラーにあてはまるかどうか「わからない」と回答した児童生徒は、多くの設問で、「あてはまる」と回答した児童生徒と似た傾向がみられた。「聞いたことはあるがよく知らない」、「聞いたことがない」と回答した割合も全ての学年で高い。

ヤングケアラーは、本人や家族に自覚がない場合も多く、支援につながりにくいことも国の調査結果などで指摘されている。

児童生徒自身が、自分は支援が必要な状態であるかもしれないと気付くためにも、ヤングケアラーについて広く周知し、さらに認知度を向上させるために啓発していく必要がある。

●ヤングケアラーと思われる児童生徒や家庭の状況は様々であり、個別の状況に丁寧に対応していくためには、既存の支援やサービスに確実に繋いでいくとともに、児童生徒や家族が相談しやすい相談窓口の設置など、当事者の気持ちに寄り添った支援が求められる。

ヤングケアラーへの支援を着実に進めていくためには、行政や学校等の各関係機関が連携し、適切な支援策を検討できるよう、関係機関を対象にした研修会の実施などを通して、各機関の対応力向上を図ることも必要である。

子どもが子どもらしい生活を送れるよう、いろいろな角度から検討を重ね、有効な支援策に繋げていくことが重要である。

6. 資料編

(1) 「小学生の生活実態に関するアンケート」調査票

「小学生の生活実態に関するアンケート」

皆さんが、お手伝いや家族のお世話などをすることは、素晴らしいことですが、中には**本当は大人が** **すると考えられるような家事や家族の世話などを、毎日**のように行うことで、心や体に負担を感じたり、また、そのことをだれにも相談できず、なやんだりしている子どもがいることが、分かってきました。

このアンケートは、宮城県内（仙台市を除く）の小学校5年生の児童を対象に、皆さんの学校や家庭での生活の様子や、その中で抱えるなやみや、困りごとなどについて回答をしていただくものです。

思ったとおりのことを答えてほしいのですが、答えにくい質問は回答しなくてもかまいません。提出された回答は、個人がわからないようにしますので、安心して答えてください。

なやんでいる児童の皆さんのために、周りの大人がどんなことが出来るかを考えていくための調査です。

※回答のしめきり：2022年12月16日（金）

◆◇ご回答にあたってのお願い◆◇

- 回答は、アンケート用紙を返信用封筒により郵送する方法、または、スマートフォンやパソコンを用いてインターネットで回答する方法のどちらかを選ぶことができます。なお、回答は一人1回限りです。
- 郵送により回答する場合は、同封している返信用封筒に入れて、ポストへ投函してください。（切手を貼らなくても構いません。）
- 答えにくい質問は回答しなくても構いません。
- 氏名や学校名を書かなくてよい調査票ですので、個人が特定されることはありません。
- 回答したくない場合も、返信用封筒に入れ、何も書かずに返送してください。

◆本調査に関するお問い合わせ先

アクリーグ株式会社 「宮城県小学生・中学生の生活実態調査事務局」 担当：加藤・柏崎・大山
電話：0285-24-3933（受付時間：土日祝日を除く 月～金 9時～17時）








小学生調査票

「小学生の生活実態に関するアンケート」 調査票

◎ ヤングケアラーについて

ヤングケアラーとは、「本当は大人がすると考えられるような家事や家族の世話を、毎日のように行うことにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

(ヤングケアラーのイメージ 例) ©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

 <p>障がいや病気のある家族に代わり買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている</p>	 <p>家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている</p>	 <p>障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている</p>	 <p>目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている</p>	 <p>日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている</p>
 <p>家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている</p>	 <p>アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している</p>	 <p>がん・路病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている</p>	 <p>障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている</p>	 <p>障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている</p>

◎ 回答方法の選択について

回答方法は、本調査票を郵送により提出する方法と、スマートフォンやパソコンによりインターネットで回答する方法が選べます。回答にかかる時間は15～20分です。

・ 郵送により回答する ⇒ 次のページへ進んでください。

・ インターネットで回答する ⇒ 下記のURLを入力するか、QRコードを読み取り、回答ページへお入りください。

★URL : <https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?acs=miyagiyoungcarer1>

★QRコード :



I. 基本情報

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号一つに○)

1. 男性
2. 女性
3. その他

問2 あなたの住んでいる市町村を教えてください。(あてはまる番号一つに○)

- | | | |
|----------|----------|---------------|
| 1. 仙台市 | 13. 大崎市 | 25. 七ヶ浜町 |
| 2. 石巻市 | 14. 富谷市 | 26. 利府町 |
| 3. 塩竈市 | 15. 蔵王町 | 27. 大和町 |
| 4. 気仙沼市 | 16. 七ヶ宿町 | 28. 大郷町 |
| 5. 白石市 | 17. 大河原町 | 29. 大衡村 |
| 6. 名取市 | 18. 村田町 | 30. 色麻町 |
| 7. 角田市 | 19. 柴田町 | 31. 加美町 |
| 8. 多賀城市 | 20. 川崎町 | 32. 涌谷町 |
| 9. 岩沼市 | 21. 丸森町 | 33. 美里町 |
| 10. 登米市 | 22. 亘理町 | 34. 女川町 |
| 11. 栗原市 | 23. 山元町 | 35. 南三陸町 |
| 12. 東松島市 | 24. 松島町 | 36. その他 ⇒ () |

問3 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 母親 | 5. 兄・姉 |
| 2. 父親 | 6. 弟・妹 |
| 3. 祖母 (おばあさん) | 7. その他 ⇒ () |
| 4. 祖父 (おじいさん) | 8. 答えられない |

問4 あなたの健康の様子について教えてください。(あてはまる番号一つに○)

1. よい
2. まあよい
3. ぶつう
4. あまりよくない
5. よくない
6. 答えられない

問5 あなたは週にどのくらい食事をしていますか。(a～cについて、あてはまる番号一つに○)

- | | | |
|-------------------|-----------|----------|
| a) 朝食 | | |
| 1. 毎日食べる | 2. 週5～6日 | 3. 週3～4日 |
| 4. 週1～2日、ほとんど食べない | 5. 答えられない | |
| b) 昼食 | | |
| 1. 毎日食べる | 2. 週5～6日 | 3. 週3～4日 |
| 4. 週1～2日、ほとんど食べない | 5. 答えられない | |
| c) 夕食 | | |
| 1. 毎日食べる | 2. 週5～6日 | 3. 週3～4日 |
| 4. 週1～2日、ほとんど食べない | 5. 答えられない | |

II. ぶだんの生活について教えてください。

問6 学校への登校の様子について教えてください。(①②それぞれ、あてはまる番号一つに○)

<p>①出席状況</p> <ol style="list-style-type: none"> ほとんど欠席しない(年に0~3日くらい) たまに欠席する(月に1日くらい) よく欠席する(週に1日くらい) 答えられない 	<p>②遅刻や早退</p> <ol style="list-style-type: none"> ほとんどしない(年に0~3日くらい) たまにする(月に1日くらい) よくする(週に1日くらい) 答えられない
--	---

問7 課外活動(スポーツ少年団、ブラスバンド、合唱など)、じゅく・習い事などをしてますか。

(あてはまる番号一つに○)

<ol style="list-style-type: none"> している していない 答えられない

問7-2 前の質問で「2.していない」と答えた人にお聞きします。していない理由は何ですか？

(あてはまる番号一つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 入りたいクラブがないから 費用がかかるから 家の事情(家族の世話、家事など)があるから 一緒に入る友達がないから その他
--

問8 ぶだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

<ol style="list-style-type: none"> 授業中にいねわりすることが多い 宿題ができていないことが多い わすれ物が多い 課外活動、じゅく・習い事を休むことが多い 先生に出す提出物が遅くなるが多い 野外活動などの宿泊行事を欠席する 保健室で過ごすことが多い 学校では一人で過ごすことが多い 友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない あてはまるものはない 答えられない

問9 現在、なやんだり、こまったりしていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

<ol style="list-style-type: none"> 友達との関係のこと 勉強や成績のこと 将来のこと お金のこと 課外活動、じゅく・習い事ができないこと 自分と家族との関係のこと 家族内の人間関係のこと(両親の仲がよくないなど) 病気やしょうがいのある家族のこと 自分のために使える時間が少ないこと 特にない その他() 答えられない

問10 問9で「10. 特にない」以外を回答した方にお聞きします。回答した「なやみ」や「こまりごと」について、相談にのってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。(あてはまる番号一つに○)

1. 相談にのってくれる人や、話を聞いてくれる人がいる
2. 相談にのってくれる人や、話を聞いてくれる人がいない
3. 相談や話はしたくない
4. 答えられない

問10-2 問10で「1. 相談にのってくれる人や、話を聞いてくれる人がいる」と答えた人にお聞きします。「なやみ」や「こまりごと」を相談できると思う人はだれですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 親
2. きょうだい
3. 祖父母など
4. 学校の先生
5. 学校の友達
6. 学校外の友達
7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
8. その他の大人(じゅく・習い事の先生、地域の人など)
9. ネットで知り合った人
10. その他 ()
11. 答えられない

問11 あなたは、次のa～dのような場所を利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いませんか。(a～dそれぞれについて、あてはまる番号一つに○)

	利用したことがある	知っているが利用したことはない			あることを知らない
		あれば利用したい	今は思わない	どうかわからない	
a) (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日過ごすことができる場所(児童クラブや児童館など)	1	2	3	4	5
b) (自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料で安く食べることができる場所(子ども食堂など)	1	2	3	4	5
c) 勉強を無料でみしてくれる場所	1	2	3	4	5
d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4	5

問11-2 問11で、一つでも「利用したことがある」と回答した方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友達が増えた
2. 気軽に話せる大人が増えた
3. 生活の中で楽しみなことが増えた
4. ほっとできる時間が増えた
5. 栄養のある食事をとれることが増えた
6. 勉強がわかるようになった
7. 勉強する時間が増えた
8. その他
9. 特に変化はない

Ⅲ. 家庭や家族のことで教えてください。

問12 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまる番号一つに○)

(ここでいう「お世話」とは、本当は大人がすると考えられる家事や家族の世話などをすることで、具体的にはこのアンケート用紙の2ページ目にイラスト付きの例をのせていますので、ごらんください。)

- 1. いる ⇒問12-2へ
- 2. いない ⇒問19へ
- 3. 答えられない ⇒問19へ

問12-2 問12で「1. いる」と回答した方にお聞きします。①誰のお世話をしているか、②お世話を必要としている方はどんな人か、③あなたがしているお世話の内容、について下記の選択肢一覧から選び、回答欄にあてはまる番号を記入してください。あなたがお世話をしている人が、二人以上いる場合はそれぞれについてお答えください。

【回答欄】	①誰のお世話をしているか	②お世話を必要としている方はどんな人か	③あなたがしているお世話の内容
説明	いるか ※下記の選択肢一覧から、あてはまるものを一つ選び、番号を記入。	いる方はどんな人か ※下記の選択肢一覧から、あてはまるものをすべて選び、番号を記入。	お世話の内容 ※下記の選択肢一覧から、あてはまるものをすべて選び、番号を記入。
(記入例)	1	3, 5	1, 4, 5
一人目			
二人目			
三人目			
四人目			
五人目			

- 【選択肢一覧】
- ①誰のお世話をしていますか (あてはまるものを一つ選び、番号を回答欄に記入)
- 1. 母親
 - 2. 父親
 - 3. 祖母 (おばあさん)
 - 4. 祖父 (おじいさん)
 - 5. きょうだい
 - 6. その他 (内容を回答欄に記載してください)
- ②お世話を必要としている (①で選んだ) 方はどんな人ですか (あてはまるものをすべて選び、番号を回答欄に記入)
- 1. お年寄り (65歳以上)
 - 2. 自分より小さい子ども
 - 3. 介護が必要
 - 4. 身体にしょうがいがある
 - 5. 病気
 - 6. その他 (内容を回答欄に記載してください)
- ③ (①で選んだ方に対して) あなたがしているお世話の内容 (あてはまるものをすべて選び、番号を回答欄に記入)
- 1. 家事 (食事の準備やそうじ、せんたく)
 - 2. きょうだいの世話や保育所などへの送りむかえ
 - 3. 入浴やトイレのお世話など
 - 4. 外出の付きそい (買い物、散歩など)
 - 5. 病院への付きそい
 - 6. ぐちを聞く、話し相手になるなど
 - 7. 見守り
 - 8. 通訳 (日本語や手話など)
 - 9. お金の管理
 - 10. 薬の管理
 - 11. その他 (内容を回答欄に記載してください)

★以下は、あなたがお世話をしている方が、二人以上いる場合も、まとめてお答えください。

④ お世話は誰としていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|--------------|-----------------|----------------------|
| 1. 母親 | 4. 祖父(おじいさん) | 7. 自分のみ |
| 2. 父親 | 5. きょうだい | 8. 福祉サービス(ヘルパーなど)を利用 |
| 3. 祖母(おばあさん) | 6. 親せき(おじ、おばなど) | 9. その他() |

⑤ あなたが何歳のときからお世話をしていますか。(はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません。)
()歳から

⑥ どのくらいお世話をしていますか。(あてはまる番号一つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週に3～5日
3. 週に1～2日
4. 1か月に数日
5. その他()

⑦ 平日にお世話はどのくらい行っていますか。時間数をお答えください。(日によって違う場合は、この1か月の中でお世話をした時間が最も長かった日の時間数を答えてください。)

1日()時間くらい

問13 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校に行きたくても行けない
2. どうしても学校を遅刻・早退してしまう
3. 宿題をする時間や勉強する時間が取れない
4. ねる時間が十分に取れない
5. 友達と遊ぶことができない
6. 課外活動、じゅく・習い事ができない、またはやめなければならなかった
7. 自分の時間が取れない
8. 特にない
9. その他()

問14 お世話をすることに大変さを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 体がつかれて大変
2. 心がつかれて大変
3. 時間によゆうがなくて大変
4. 特に大変さは感じていない

問15 お世話を必要としている家族のことや、お世話のなやみを誰かに相談したことはありますか。

(あてはまる番号一つに○)

1. ある ⇒問16へ
2. ない ⇒問17、問18へ

問16 問15で「1. ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1. 家族(母、父、祖母、祖父、きょうだい) | 7. お医者さんや看護師さん、その他病院の人 |
| 2. 親せき(おじ、おばなど) | 8. ヘルパーさんや福祉サービスの人 |
| 3. 友達 | 9. 役所や、保健福祉センターの人 |
| 4. 学校の先生(保健室の先生以外) | 10. 近所の人 |
| 5. 保健室の先生 | 11. SNS上での知り合い |
| 6. スクールカウンセラーや
スクールソーシャルワーカー | 12. その他 () |

問17 問15で「2. ない」と回答した方にお聞きします。相談していない理由を教えてください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 誰かに相談するほどのなやみではない | 5. 家族や自分のことを変な目で見られたくない |
| 2. 誰に相談するのがよいかわからない | 6. 相談しても今よりよくなるとは思わない |
| 3. 相談できる人が身近にいない | 7. その他 () |
| 4. 家族のことを知られたくない | |

問18 問15で「2. ない」と回答した方にお聞きします。お世話を必要としている家族のことや、お世話のなやみを聞いてくれる人はいますか。(あてはまる番号一つに○)

1. いる
2. いない

問19 学校や周りの大人に助けてほしいことや、手伝ってほしいことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい ⇒○を付けた人は問20へ
2. 家族のお世話について相談にのってほしい ⇒○を付けた人は問20へ
3. 家族の病気やしょうがい、お世話のしかたなどについてわかりやすく説明してほしい
4. 自分がしているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい
5. 自分がしているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい
⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか
()
6. 自由に使える時間がほしい
7. 将来のことについて相談にのってほしい
8. 学校の勉強のサポートをしてほしい
9. 家庭へのお金についてのサポートをしてほしい
10. わからない
11. 特にない
12. その他 ()

問20 問19で「1.自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「2.家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した方にお聞きします。どのような方法で話を聞いてほしい、相談にのってほしいですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 直接会って | 4. 電子メール |
| 2. 電話 | 5. その他 () |
| 3. SNS (LINEなど) | 6. 答えられない |

※アンケートの最後に相談先をのせていますので、こまったときは話してみてください。

IV. ヤングケアラーについて

※ヤングケアラーとは、「本当は大人がすると考えられるような家事や家族の世話を、毎日のように行うことにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。このアンケート用紙の2ページ目にイラストをのせていますので、ごらんください。

問21 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。(あてはまる番号一つに○)

1. あてはまる 2. あてはまらない 3. わからない 4. 答えられない

問22 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(あてはまる番号一つに○)

1. 聞いたことがあり、内容も知っている ⇒問22-2へ
2. 聞いたことはあるが、よく知らない ⇒問22-2へ
3. 聞いたことはない
4. 答えられない

問22-2 問22で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまる番号すべてに○)

1. テレビや新聞、ラジオ 5. イベントや交流会など
2. 雑誌や本 6. 学校
3. SNSやインターネット 7. 友達・知り合いから聞いた
4. 広告やチラシ、掲示物 8. その他 ()
9. 答えられない

問23 ヤングケアラーの手助けをしていくために必要なと思うことや、周りの人にしてほしいことなど自由に書いてください。特にない場合は書かなくてもよいです。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

◎ ヤングケアラーかも、と思った場合の相談先

ヤングケアラーかも？と思った場合や、こまっていることがある場合は、周囲の大人や、以下の相談先に話して

みてください。

○ 学校に相談したいとき

学校の先生、スクールカウンセラー

○ 電話で相談したいとき

宮城県中央児童相談所

TEL 022-784-3583

宮城県北部児童相談所

TEL 0229-22-0030

宮城県東部児童相談所

TEL 0225-95-1121

宮城県東部児童相談所気仙沼支所

TEL 0226-21-1020

○ LINEで相談したいとき

みやぎ子ども・子育て相談 (LINE相談)

QRコード



(2) 「中高生の生活実態に関するアンケート」調査票

「中高生の生活実態に関するアンケート」

皆さんが、お手伝いや家族のお世話などをすることは、素晴らしいことですが、中には**本来、大人が** **すると考えられるような家事や家族の世話などを、日常的に行う**ことで、自分のための時間が作れず、心や体に負担を感じていたり、また、そのことを誰にも相談できず悩んでいる生徒がいることが、近年の全国調査で分かってきました。

このアンケートは、仙台市立を除く、宮城県内の中学2年生および高校2年生を対象に、皆さんの学校や家庭での生活状況や、その中で抱える悩みや困りごとなどについて回答をしていただくものです。

提出された回答は、統計的に処理した上で取り扱いますので、個人が特定されることはありません。より良い支援策を検討していくため、皆さんのご協力をお願いいたします。

なお、各質問の受け止めや、選択肢への感じ方は人それぞれです。回答に際しては、考え込まず、自分自身の感覚で答えてください。（所要時間は15～20分程度です。）

※回答のしめきり：2022年12月16日（金）

◆◇ご回答にあたってのお願い◇◆

- 回答は、スマートフォンやパソコンを用いてインターネットで行います。
なお、回答は一人1回限りです。
- 裏面のQRコードまたはURLから回答フォームにアクセスし、回答してください。
- 答えにくい質問は回答しなくても構いません。
- 氏名や学校名を書かなくてよい調査ですので、**個人が特定されることはありません。**

◆本調査に関するお問い合わせ先

アクリーグ株式会社 「宮城県小学生・中高生の生活実態調査事務局」 担当：加藤・柏崎・大山
電話：0285-24-3933（受付時間：土日祝日を除く 月～金 9時～17時）

中高生調査票

「中高生の生活実態に関するアンケート」

◎ ヤングケアラーについて

ヤングケアラーとは、「本来大人がすると考えられるような家事や家族の世話などを、日常的に行うことにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。

(ヤングケアラーのイメージ 例)

©一般社団法人日本ケアラー連盟/ illustration : Izumi Shiga



障がいや病気のある家族に代わり買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を隠せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

◎ 回答方法の選択について

下記のURLを入力するか、QRコードを読み取り、回答ページにアクセスしてください。

回答にかかる時間は15～20分です。

★URL : <https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?acs=miyagiyoungcarer2>

★QRコード :



I. 基本情報

問1 あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号一つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 中学校2年生 | 3. 高校2年生(定時制) |
| 2. 高校2年生(全日制) | 4. 高校2年生(通信制) |

問2 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号一つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. 男性 | 3. その他 |
| 2. 女性 | |

問3 あなたの住んでいる市町村を教えてください。(あてはまる番号一つに○)

- | | | |
|----------|----------|---------------|
| 1. 仙台市 | 13. 大崎市 | 25. 七ヶ浜町 |
| 2. 石巻市 | 14. 富谷市 | 26. 利府町 |
| 3. 塩竈市 | 15. 蔵王町 | 27. 大和町 |
| 4. 気仙沼市 | 16. 七ヶ宿町 | 28. 大郷町 |
| 5. 白石市 | 17. 大河原町 | 29. 大衡村 |
| 6. 名取市 | 18. 村田町 | 30. 色麻町 |
| 7. 角田市 | 19. 柴田町 | 31. 加美町 |
| 8. 多賀城市 | 20. 川崎町 | 32. 涌谷町 |
| 9. 岩沼市 | 21. 丸森町 | 33. 美里町 |
| 10. 登米市 | 22. 亘理町 | 34. 女川町 |
| 11. 栗原市 | 23. 山元町 | 35. 南三陸町 |
| 12. 東松島市 | 24. 松島町 | 36. その他 ⇒ () |

問4 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------|--------------|
| 1. 母親 | 5. 兄・姉 |
| 2. 父親 | 6. 弟・妹 |
| 3. 祖母 | 7. その他 ⇒ () |
| 4. 祖父 | 8. 答えられない |

問5 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号一つに○)

- | | |
|---------|------------|
| 1. よい | 4. あまりよくない |
| 2. まあよい | 5. よくない |
| 3. ふう | 6. 答えられない |

問6 あなたは週にどのくらい食事をしていますか。(a~cについて、あてはまる番号一つに○)

- | | | |
|-------------------|-----------|----------|
| a) 朝食 | | |
| 1. 毎日食べる | 2. 週5~6日 | 3. 週3~4日 |
| 4. 週1~2日、ほとんど食べない | 5. 答えられない | |
| b) 昼食 | | |
| 1. 毎日食べる | 2. 週5~6日 | 3. 週3~4日 |
| 4. 週1~2日、ほとんど食べない | 5. 答えられない | |
| c) 夕食 | | |
| 1. 毎日食べる | 2. 週5~6日 | 3. 週3~4日 |
| 4. 週1~2日、ほとんど食べない | 5. 答えられない | |

II. ふだんの生活についてお伺いします。

問7 学校への通学状況等について教えてください。(①②それぞれ、あてはまる番号一つに○)

①出席状況	②遅刻や早退
1. ほとんど欠席しない(年に0~3日くらい)	1. ほとんどしない(年に0~3日くらい)
2. たまに欠席する(月に1日くらい)	2. たまにする(月に1日くらい)
3. よく欠席する(週に1日くらい)	3. よくする(週に1日くらい)
4. 答えられない	4. 答えられない

問8 部活動(学校外での活動を含む)に参加していますか。(あてはまる番号一つに○)

1. 参加している
2. 参加していない
3. 答えられない

問8-2 前の質問で「2.参加していない」と答えた人にお聞きします。していない理由は何ですか？

(あてはまる番号一つに○)

1. 入りたいクラブがないから
2. 費用がかかるから
3. 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
4. 一緒に入る友達がいないから
5. その他

問9 普通の学校生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 授業中に居眠りすることが多い
2. 宿題や課題ができていないことが多い
3. 持ち物の忘れ物が多い
4. 部活動や習い事を休むことが多い
5. 提出しなければいけない書類などの提出が遅くなること多い
6. 修学旅行などの宿泊行事を欠席する
7. 保健室で過ごすことが多い
8. 学校では一人で過ごすことが多い
9. 友達と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
10. あてはまるものはない
11. 答えられない

問10 現在、悩んだり、困ったりしていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友人との関係のこと	8. 自分と家族との関係のこと
2. 学業成績のこと	9. 家族内の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど)
3. 進路のこと	10. 病気や障害のある家族のこと
4. 部活動のこと	11. 自分のために使える時間が少ないこと
5. 学費(教材費、部費)など学校生活に必要なお金のこと	12. 特にない
6. 塾(通信講座含む)や習い事ができないこと	13. その他()
7. 家庭の経済的状況のこと	14. 答えられない

問10-2 問10で「12. 特にない」以外を回答した方にお聞きします。回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいますか。(あてはまる番号一つに○)

1. 相談に乗ってくれる人や、話を聞いてくれる人がいる
2. 相談に乗ってくれる人や、話を聞いてくれる人がいない
3. 相談や話はしたくない
4. 答えられない

問10-3 前の質問で「1. 相談に乗ってくれる人や、話を聞いてくれる人がいる」と答えた人にお聞きします。困っていることや悩みごとを相談できると思う人はだれですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 1. 親 | 7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど |
| 2. きょうだい | 8. その他の大人(塾・習い事の先生、地域の人など) |
| 3. 祖父母など | 9. ネットで知り合った人 |
| 4. 学校の先生 | 10. その他() |
| 5. 学校の友達 | 11. 答えられない |
| 6. 学校外の友達 | |

問11 あなたは、次のa~dのような場所を利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。(a~dそれぞれについて、あてはまる番号一つに○)

	利用したことがある	知っているが利用したことはない			そのような場所があることを知らない
		あれば利用したいと思う	今後利用したいとは思わない	どうかかわらない	
a) (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所(児童館など)	1	2	3	4	5
b) (自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)	1	2	3	4	5
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4	5
d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)	1	2	3	4	5

問11-2 問11で、一つでも「利用したことがある」と回答した方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 友達が増えた | 6. 勉強がわかるようになった |
| 2. 気軽に話せる大人が増えた | 7. 勉強する時間が増えた |
| 3. 生活の中で楽しみなことが増えた | 8. その他 |
| 4. ほっとできる時間が増えた | 9. 特に変化はない |
| 5. 栄養のある食事をとれることが増えた | |

Ⅲ. 家庭や家族のことについて教えてください。

問12 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまる番号一つに○)

(ここでいう「お世話」とは、本当は大人がすると考えられる家事や家族の世話などをすることで、具体的には本アンケート用紙の2ページ目にイラスト付きの例をのせていますので、ご覧ください。)

- 1. いる ⇒問12-2 へ
- 2. いない ⇒問21 へ
- 3. 答えられない ⇒問21 へ

問12-2 問12 で「1. いる」と回答した方にお聞きします。①誰のお世話をしているか、②お世話を必要としている方はどんな人か、③あなたがしているお世話の内容、について下記の選択肢一覧から選び、回答欄にあてはまる番号を記入してください。あなたがお世話をしている人が、二人以上いる場合はそれぞれについてお答えください。

【回答欄】	①誰のお世話をしているか	②お世話を必要としている方はどんな人か	③あなたがしているお世話の内容
説明	※下記の選択肢一覧①から、あてはまるもの一つを選び、番号を記入。	※下記の選択肢一覧②から、あてはまるものをすべて選び、番号を記入。	※下記の選択肢一覧③から、あてはまるものをすべて選び、番号を記入。
(記入例)	1	3, 5	1, 4, 5
一人目			
二人目			
三人目			
四人目			
五人目			

【選択肢一覧】

① 誰のお世話をしていますか (あてはまるもの一つを選び、番号を回答欄に記入)

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. 祖母
- 4. 祖父
- 5. きょうだい
- 6. その他 (内容を回答欄に記載してください)

② お世話を必要としている (①で選んだ) 方はどんな人ですか (あてはまるものをすべて選び、番号を回答欄に記入)

- 1. 高齢 (65歳以上)
- 2. 幼い
- 3. 要介護 (介護が必要な状態)
- 4. 認知症
- 5. 身体障害
- 6. 知的障害
- 7. 精神疾患 (疑い含む)
- 8. 依存症 (アルコール、ギャンブルなど 疑い含む)
- 9. 7, 8以外の病気
- 10. その他 (内容を回答欄に記載してください)

③ (①で選んだ方に対して) あなたがしているお世話の内容 (あてはまるものをすべて選び、番号を回答欄に記入)

- 1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯)
- 2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など
- 3. 身体的な介護 (入浴やトイレのお世話など)
- 4. 外出の付き添い (買い物、散歩など)
- 5. 通院の付き添い
- 6. 感情面のサポート (話し相手になるなど)
- 7. 見守り
- 8. 通訳 (日本語や手話など)
- 9. 金銭管理
- 10. 薬の管理
- 11. その他 (内容を回答欄に記載してください)

★以下は、あなたがお世話をしている方が、二人以上いる場合も、まとめてお答えください。

④ お世話は誰としていますか。(あてはまる番号すべてに○)		
1. 母親	4. 祖父	7. 自分のみ
2. 父親	5. きょうだい	8. 福祉サービス(ヘルパーなど)を利用
3. 祖母	6. 親戚(おじ、おばなど)	9. その他()
⑤ あなたが何歳のときからお世話をしていますか。(はっきりとわからない場合は、だいたいの年齢でかまいません。) ()歳から		
⑥ お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまる番号一つに○)		
1. ほぼ毎日		
2. 週に3~5日		
3. 週に1~2日		
4. 1か月に数日		
5. その他()		
⑦ 平日にお世話はどのくらい行っていますか。時間数をお答えください。(日によって異なる場合は、この1か月の中でお世話をした時間が最も長かった日の時間数を教えてください。)		
1日()時間くらい		

問13 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校に行きたくても行けない
2. どうしても学校を遅刻・早退してしまう
3. 宿題をする時間や勉強する時間が取れない
4. 睡眠が十分に取れない
5. 友人と遊ぶことができない
6. 部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった
7. 進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した
8. 自分の時間が取れない
9. 特にない
10. その他()

問14 お世話をすることに大変さを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 身体的に大変である
2. 精神的に大変である
3. 時間的余裕がない
4. 特に大変さは感じていない

問15 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。
(あてはまる番号一つに○)

1. ある ⇒問16へ
2. ない ⇒問17, 問18へ

問16 問15で「1. ある」と回答した方にお聞きします。それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家族(母、父、祖母、祖父、きょうだい)
2. 親戚(おじ、おばなど)
3. 友人
4. 学校の先生(保健室の先生以外)
5. 保健室の先生
6. スクールカウンセラーや
スクールソーシャルワーカー
7. 医師や看護師、その他病院の人
8. ヘルパーやケアマネージャー、福祉サービスの人
9. 役所や保健福祉センターの人
10. 近所の人
11. SNS上での知り合い
12. その他()

問17 問15で「2. ない」と回答した方にお聞きします。相談していない理由を教えてください。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 誰かに相談するほどの悩みではない
2. 家族以外の人に相談するほどの悩みではない
3. 誰に相談するのがよいかわからない
4. 相談できる人が身近にいない
5. 家族のこのため話しにくい
6. 家族のことを知られたくない
7. 家族に対して偏見を持たれたくない
8. 相談しても状況が変わるとは思えない
9. その他()

問18 問15で「2. ない」と回答した方にお聞きします。お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。(あてはまる番号一つに○)

1. いる
2. いない

問19 学校や周りの大人に助けてほしいことや、手伝ってほしいことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分の今の状況について話を聞いてほしい ⇒○を付けた人は問20へ
2. 家族のお世話について相談にのってほしい ⇒○を付けた人は問20へ
3. 家族の病気や障害、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
4. 自分がしているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい
5. 自分がしているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい
⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか
()
6. 自由に使える時間がほしい
7. 進路や就職など将来の相談にのってほしい
8. 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート
9. 家庭への経済的な支援
10. わからない
11. 特にない
12. その他()

問20 問19で「1.自分の今の状況について話を聞いてほしい」、「2.家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した方にお聞きします。どのような方法で話を聞いてほしい、相談にのってほしいですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 直接会って
2. 電話
3. SNS(LINEなど)
4. 電子メール
5. その他()
6. 答えられない

※アンケートの最後に相談先を載せていますので、困ったときは話をしてみてください。

IV. ヤングケアラーについて

※ヤングケアラーとは、「本来大人がすると考えられるような家事や家族の世話などを、日常的に行うことにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことをいいます。本アンケート用紙の2ページ目にイラストを載せていますので、ご覧ください。

問21 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。(あてはまる番号一つに○)

- | | | | |
|----------|------------|---------|-----------|
| 1. あてはまる | 2. あてはまらない | 3.わからない | 4. 答えられない |
|----------|------------|---------|-----------|

問22 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(あてはまる番号一つに○)

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 聞いたことがあり、内容も知っている | ⇒問22-2へ |
| 2. 聞いたことはあるが、よく知らない | ⇒問22-2へ |
| 3. 聞いたことはない | |

問22-2 問22で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. テレビや新聞、ラジオ | 5. イベントや交流会など |
| 2. 雑誌や本 | 6. 学校 |
| 3. SNSやインターネット | 7. 友達・知り合いから聞いた |
| 4. 広告やチラシ、掲示物 | 8. その他 () |

自由記述欄 (ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや、要望等何でも)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

◎ ヤングケアラーかも、と思った場合の相談先

ヤングケアラーかも？と思った場合や、困っていることがある場合は、周囲の大人や、以下の相談先に話してみてください。

○学校に相談したいとき

学校の先生、スクールカウンセラー

○電話で相談したいとき

宮城県中央児童相談所	TEL 022-784-3583
宮城県北部児童相談所	TEL 0229-22-0030
宮城県東部児童相談所	TEL 0225-95-1121
宮城県東部児童相談所気仙沼支所	TEL 0226-21-1020

○LINEで相談したいとき

みやぎ子ども・子育て相談（LINE相談）

→ QRコード



宮城県保健福祉部 子ども・家庭支援課

住 所：〒980-8570

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

電話番号：022-211-2531

FAX 番号：022-211-2591